

令和 7 年度

大分県立高等学校入学者選抜実施要項

大分県教育委員会

令和7年度

大分県立高等学校入学者選抜基本方針

高等学校の入学者選抜は、各高等学校に入学を希望する者について、当該高等学校・学科の教育を受けるに足る能力、適性等を判定して行う。

その際、各学校・学科の特色に配慮しつつ生徒の能力、適性等を多面的に評価する。

目 次

第1 基 本 方 針	1
第2 募 集	1
第3 選 抜 方 法	2
第4 入 学 考 査 料	2
第5 受 験 上 の 配 慮	3
第6 帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特例措置	3
第7 推薦入学者選抜 [募集人員と選抜の資料等]	4
推薦入試 A	
1 実 施 学 科	4
2 募 集	4
3 出 願	5
4 願書等提出期間	5
5 出 願 手 続	5
6 入 学 者 の 選 抜	6
7 選抜結果の通知及び合格者の発表	6
8 一次入試等への出願	6
推薦入試 B	
1 実 施 学 科	7
2 募 集	7
3 出 願	7
4 願書等提出期間	7
5 出 願 手 続	7
6 入 学 者 の 選 抜	9
7 選抜結果の通知及び合格者の発表	9
8 一次入試等への出願	9
【表1】推薦入試に係る学校ごとに定める事項	10～16
【表2】推薦入試Aに係る適性検査の内容	17～18
第8 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜 [募集人員と選抜の資料等]	19
1 実 施 学 科	19
2 募 集 人 員	19
3 応 募 資 格	19
4 出 願	19
5 願書等提出期間	19

6	出 願 手 続	19
7	入学者の選抜	21
8	選抜結果の通知及び合格者の発表	21
9	一次入試等への出願	21

第9 帰国・外国人生徒特別入学者選抜

	[募集人員と選抜の資料等]	22
1	実 施 学 科	22
2	募 集 人 員	22
3	応 募 資 格	22
4	出 願	22
5	願書等提出期間	22
6	出 願 手 続	22
7	入学者の選抜	24
8	選抜結果の通知及び合格者の発表	24
9	一次入試等への出願	24

第10 第一次入学者選抜

	[募集人員と選抜の資料等]	25
1	募 集	25
2	出 願	25
3	願書等提出期間	25
4	出 願 手 続	25
5	志 願 の 変 更	27
6	入学者の選抜	29
7	選 抜 の 方 法	30
8	合格者の発表	30
	【表3】一次入試に係る学校ごとに定める事項	31
	【表4】一次入試に係る適性検査の内容	32～33

第11 第二次入学者選抜

	[選抜の資料等]	34
1	実施校及び募集人員	34
2	出 願	34
3	願書等提出期間	34
4	出 願 手 続	34
5	入学者の選抜	36
6	選 抜 の 方 法	36
7	合格者の発表	36
	【表5】二次入試に係る学校ごとに定める事項	37
	【表6】二次入試に係る適性検査の内容	38

第 12 大分県立爽風館高等学校入学者選抜

定時制課程（3 部制）

1 入学定員及び募集人員	39
2 選 抜 方 法	39
3 入学考査料納付の方法	39
4 春季入学者選抜	39
5 秋季入学者選抜	41
6 そ の 他	42
7 爽風館特別入試出願要件	42

通信制課程

1 入学定員及び募集人員	43
2 選 抜 方 法	43
3 春季入学者選抜	43
4 秋季入学者選抜	44
5 願書等の入手方法	45
6 そ の 他	45

第 13 感染症等で受験できない生徒に対する特例措置

特例選抜 A

1 対象となる選抜	46
2 申 請 手 続	46
3 入学者の選抜	46
4 選抜結果の通知及び合格者の発表	46
5 そ の 他	47
6 フ ロ ー 図	47

特例選抜 B

1 対象となる選抜	47
2 申 請 手 続	47
3 入学者の選抜	47
4 選抜結果の通知	48
5 そ の 他	48
6 フ ロ ー 図	48

【表 7】特例選抜 B に係る学校ごとに定める事項 49

【表 8】特例選抜 B に係る適性検査の内容 50～51

第 14 県外からの志願

1 申請を必要とするもの	52
2 申請を必要としないもの	53
3 入学考査料納付の方法	54

第 15 その他の事項

1 調査書及び教科学習成績一覧表の作成	55
2 入学者選抜結果に関する保有個人情報の目的外提供	55
3 そ の 他	55

様式	式	
様式 1 号	推薦入学者選抜入学願書、連携型中高一貫教育に係る入学者選抜入学願書、 帰国・外国人生徒特別入学者選抜入学願書	56
様式 2 号	推 薦 書	57
様式 3 号	大分県立爽風館高等学校（定時制課程）志願理由書	58
様式 4 号	推薦入学者選抜、連携型中高一貫教育に係る入学者選抜 及び帰国・外国人生徒特別入学者選抜入学志願者関係書類送付文書	59
様式 5 号	推薦入学者選抜、連携型中高一貫教育に係る入学者選抜、帰国・外国人 生徒特別入学者選抜及び特例選抜 A 入学志願者の選抜結果通知文書	59
様式 6 号の 1	推薦入学者選抜合格内定通知書	60
様式 6 号の 2	連携型中高一貫教育に係る入学者選抜合格内定通知書	60
様式 6 号の 3	帰国・外国人生徒特別入学者選抜合格内定通知書	61
様式 6 号の 4	特例選抜 A 合格内定通知書	61
様式 7 号	第一次入学者選抜入学願書	62
様式 8 号	第二次入学者選抜入学願書	63
様式 9 号	調 査 書	64～66
様式 10 号	教科学習成績一覧表	67
様式 11 号の 1	大分県立高等学校入学志願許可願	67
様式 11 号の 2	身元引受書（誓約書）	68
様式 11 号の 3・4・5	大分県立高等学校入学志願許可書	68～69
様式 12 号の 1・2	志願変更願（甲）・（乙）	70
様式 13 号	大分県立高等学校入学志願者教科学習成績一覧表送付文書	71
様式 14 号	第一次入学者選抜入学志願者関係書類送付文書	71
様式 15 号	第一次入学者選抜入学志願変更願送付文書	72
様式 16 号	第二次入学者選抜入学志願者関係書類送付文書	72
様式 17 号	身体に障がいのある受験者に関する配慮申請書	73
様式 18 号	その他の事情に関する配慮申請書	73
様式 19 号	帰国・外国人生徒に関する特例措置適用申請書	74
様式 20 号	帰国・外国人生徒特別入学者選抜志願に係る申告書	74
様式 21 号	特例選抜受験願	75
様式 22 号	特例選抜受験許可書	75

そ の 他

* 大分県立高等学校入学者選拔出願関係書類一覧	76
* 大分県立高等学校入学者選抜実施校及び入試番号一覧	77
* 大分県立高等学校入学者選抜に係る中学校及び高等学校業務日程	78～79
* 令和 7 年度県立高等学校入学定員	80～81
* 令和 7 年度大分県立高等学校入学者選抜の主な日程	82

令和7年度 大分県立高等学校入学者選抜実施要項

令和7年度大分県立高等学校全日制課程・定時制課程・通信制課程の入学者選抜は、この要項の定めるところにより実施する。

第1 基 本 方 針

高等学校の入学者選抜は、各高等学校に入学を希望する者について、当該高等学校・学科の教育を受けるに足る能力、適性等を判定して行う。

その際、各学校・学科の特色に配慮しつつ生徒の能力、適性等を多面的に評価する。

第2 募 集

1 募 集 人 員

各県立高等学校の募集人員は、第7～第12の募集人員の定めるところによる。

なお、入学定員については「その他」p80～81を参照すること。

2 応 募 資 格

県立高等学校に入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 中学校若しくはこれに準ずる学校若しくは義務教育学校を卒業した者又は令和7年3月に卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は令和7年3月に修了見込みの者
(以下、中学校、これに準ずる学校、義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程を「中学校」という。)
- (3) 次のいずれかに該当する者
 - ① 外国において、学校教育における9年の課程を令和7年3月に修了する見込みの者及び当該課程を修了した者
 - ② 文部科学大臣が、中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和7年3月に修了する見込みの者及び当該課程を修了した者
 - ③ 文部科学大臣の指定した者
 - ④ 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
 - ⑤ その他、高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

第3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、次の1～5により行うものとする。ただし、大分県立爽風館高等学校定時制課程及び通信制課程の入学者選抜は「第12 大分県立爽風館高等学校入学者選抜」により行うものとする。

- 1 推薦入学者選抜（以下「推薦入試」という。） p4 ～18 参照
- 2 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜（以下「連携型入試」という。） p19 ～21 参照
- 3 帰国・外国人生徒特別入学者選抜（以下「帰国・外国人生徒特別入試」という。） p22 ～24 参照
- 4 第一次入学者選抜（以下「一次入試」という。） p25 ～33 参照
- 5 第二次入学者選抜（以下「二次入試」という。） p34 ～38 参照

第4 入 学 考 査 料

[入学検査料]

出 願 校 の 課 程	入 学 考 査 料
全日制課程	2, 2 0 0 円
定時制課程	9 5 0 円
通信制課程	徴収しない

[入学検査料納付の方法等]

- 1 推薦入試、連携型入試、帰国・外国人生徒特別入試に出願する場合は出願校で納付する。
- 2 一次入試に出願する場合
 - ① 推薦入試、連携型入試及び帰国・外国人生徒特別入試に出願した者で一次入試に出願する場合は、下表による。

推薦入試等出願校の課程	一次入試出願校の課程	入 学 考 査 料
全日制課程	全日制課程	入学検査料領収証明書を添付すること
	定時制課程	
定時制課程	全日制課程	入学検査料領収証明書を添付するとともに入学検査料の差額を納付すること
	定時制課程	入学検査料領収証明書を添付すること

- ② ①に該当しない場合は、出願校で納付する。
- 3 二次入試に出願する場合は、新たに上記入学検査料を出願校で納付する。
- 4 郵送で出願する場合は、入学検査料を普通為替、又は定額小為替で納付する。為替には指定受取人住所や氏名などを記入しないこと。なお、為替の手数料は志願者負担とする。
- 5 一旦納付した入学検査料は返還しない。

第5 受験上の配慮

1 申請手続

- (1) 中学校長は、2のいずれかに該当すると認められる者が志願する場合には、「身体に障がいのある受験者に関する配慮申請書」（様式 17 号）又は「その他の事情に関する配慮申請書」（様式 18 号）を令和6年12月2日（月）までに県教育委員会に提出する。
- (2) 県教育委員会にて、令和6年12月27日（金）までに志願者及び当該中学校長等と協議する。
- (3) 大分県立爽風館高等学校における受験上の配慮の申請手続は「第 12 大分県立爽風館高等学校入学者選抜」を参照すること。

2 配慮対象者

- (1) 身体に障がいがあるため、受験する際に配慮が必要と認められる者
- (2) その他の事情で、受験する際に配慮が必要と認められる者

第6 帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特例措置

1 申請手続

- (1) 中学校長は、帰国・外国人生徒で、受験する際に特例措置が必要と認められる者が志願する場合には、「帰国・外国人生徒に関する特例措置適用申請書」（様式 19 号）を令和6年12月2日（月）までに県教育委員会に提出する。
- (2) 県教育委員会にて、令和6年12月27日（金）までに志願者及び当該中学校長等と協議する。
- (3) 大分県立爽風館高等学校における帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特例措置の申請手続は「第 12 大分県立爽風館高等学校入学者選抜」を参照すること。

2 特例措置の内容

- (1) 推薦入試の特例措置（例）
 - ① 適性検査及び小論文の問題文や解答用紙の漢字について、振り仮名を付す。
 - ② 適性検査及び小論文の検査時間を延長する。
 - ③ 別室受験
- (2) 一次入試の特例措置（例）
 - ① 学力検査の問題文及び解答用紙の漢字について、振り仮名を付す。
 - ② 学力検査の検査時間を延長する。
 - ③ 別室受験
- (3) 二次入試の特例措置
推薦入試、一次入試の特例措置に準ずる。
- (4) その他
上記以外の特例措置についても、県教育委員会にて、志願者及び当該中学校長等と協議する。

第7 推薦入学者選抜

[募集人員と選抜の資料等]

選 抜 方 法		推 薦 入 試 A	推 薦 入 試 B		
			普通科・専門学科 (安心院高等学校普通科、国東高等学校 全学科、久住高原農業高等学校農業科及 び日田林工高等学校林業科を除く)	安 心 院 高 等 学 校 普 通 科 国 東 高 等 学 校 全 学 科 久 住 高 原 農 業 高 等 学 校 農 業 科 日 田 林 工 高 等 学 校 林 業 科	総 合 学 科
募 集 人 員		当該学科の入学 定員の 30%～ 100%の範囲で、 学校ごとに定め る。	入学定員の 20% 以内で、学校ごとに 定める。	入学定員の 安心院高等学校普通科は20%以内、国東高等学校全学科は30% 以内、久住高原農業高等学校農業科は50%以内、日田林工高等学 校林業科は40%以内 で、学校ごとに定める。 そのうち、全国募集により県外から志願する者については 安心院高等学校普通科及び国東高等学校全学科は入学定員の10% 程度、久住高原農業高等学校農業科は入学定員の30%程度、日田 林工高等学校林業科は入学定員の20%程度とする。	入学定員の 30% 以内で、学校ごとに 定める。
選 抜 の 資 料	調 査 書	○	○		
	推 薦 書	○	○		
	適性検査	○	—		
	面 接	○	○		
	小 論 文	○	△		
出願期間		1 月 21 日（火）～ 1 月 24 日（金）			
検 査 日 程	適性検査	2 月 4 日（火） 2 月 5 日（水）	—		
	面 接		2 月 4 日（火）・2 月 5 日（水）		
	小 論 文				
合格内定の通知		2 月 5 日（水）・2 月 6 日（木）			
合格者発表		3 月 14 日（金）			

(注) ○ 資料とする又は実施する。 — 実施しない。 △ 必要に応じて実施する。

推薦入試 A

1 実 施 学 科

別府翔青高等学校グローバルコミュニケーション科

大分舞鶴高等学校理数科

芸術緑丘高等学校音楽科・美術科

2 募 集

(1) 募集人員

当該学科の入学定員の30%～100%の範囲で、学校ごとに定める。

p10～16【表1】参照

(2) 推薦要件

次の各項の全てに該当する者で、詳細は学校ごとに定める。

- ア 当該学科を志願する動機、理由が明白かつ適切である者
- イ 当該学科に対する適性及び興味・関心を有する者
- ウ 調査書の各記録が、当該学科を志願するにふさわしい者

3 出 願

出願は1校・1学科に限るものとする。

4 願書等提出期間

令和7年1月21日（火） ～ 令和7年1月24日（金）

- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

5 出 願 手 続

(1) 志願者の行う手続

志願者は、次の表に示す関係書類を在籍又は出身中学校長を経て、提出期間内に志願先の高等学校長に提出しなければならない。

推 薦 入 学 者 選 抜 入 学 願 書 (様式1号)	志願者全員
入 学 考 査 料	志願者全員
志望調査票（当該校指定のもの）	芸術緑丘高等学校音楽科志願者
大分県立高等学校入学志願許可書 (様式11号の3)	県外から本県の全日制課程を志願する者（p52～53 参照）
志 願 承 諾 書	高等専門学校、高等学校に在籍のまま志願する者

- ・ 志望調査票は、芸術緑丘高等学校で直接受け取るか同校ホームページからダウンロードすること。
- ・ 志願承諾書は、任意様式で、在籍する高等専門学校、高等学校が作成したもの。

(2) 中学校長の行う手続

① 推薦入学志願者の決定

中学校長は、被推薦者の決定に当たっては、校長、副校長、教頭及び教員をもって組織する推薦委員会を設置し、厳正、公平を期するものとする。

② 書類の提出

- ア 中学校長は、(1)の志願者の提出書類を提出期間（1月21日～1月24日）内に公文書（様式4号）をもって、志願先の高等学校長に提出するものとする。
- イ 中学校長は、次の表に示す書類を作成し、提出期間内に公文書（様式4号及び様式13号）をもって、それぞれの提出先に提出するものとする。

提出先	提出書類	提出期間	備考
高等学校長	調査書 (様式9号) 推薦書 (様式2号) 教科学習成績一覧表 (様式10号)	1月21日(火) 午前9時 ～ 1月24日(金) 正午	教科学習成績一覧表は、過年度卒業者及び県外中学校からの志願者(県外隣接中学校から許容する高等学校に出願する場合を除く)については提出不要である。
高校教育課長	教科学習成績一覧表 (様式10号)		

- ・ 中学校長は、やむを得ない事情で調査書等を提出できないときは、県教育委員会の指示を受けるものとする。
- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

(3) 高等学校長の行う手続

- ① 高等学校長は、提出された出願関係書類が適正であると認めたときは、**受験票と入学考査料領収書**を志願者に交付する。
- ② 高等学校長は、必要があるときは、出願書類の内容について、中学校長に説明を求めることができる。

6 入学者の選抜

(1) 検査日及び検査内容

令和7年2月4日(火)	} 適性検査、面接、小論文 p17～18【表2】参照
令和7年2月5日(水)	

(2) 検査場

検査場は、出願先高等学校とする。

(3) 選抜の方法

高等学校長は、調査書、推薦書、適性検査、面接及び小論文の結果を資料として行う選抜に基づいて合格内定者を決定する。

選抜に当たっては、校長、副校長、教頭及び教職員をもって組織する選抜委員会を設置し、厳正、公平を期するものとする。

7 選抜結果の通知及び合格者の発表

- (1) 各高等学校長は、選抜結果について、**令和7年2月6日(木)**までに中学校長あて、推薦入学者選抜合格内定通知書(様式6号の1)を、公文書(様式5号)をもって簡易書留郵便にて**発送**する。その際、合格内定者とならなかった者については「**入学考査料領収証明書**」を同封する。また、合格内定者の発表を**令和7年2月6日(木)**に中学校長に対して令和7年度大分県立高等学校入学者選抜合格内定者発表専用Webサイトにて行う。
- (2) 合格者の発表は一次入試の合格者発表と同時に令和7年度大分県立高等学校入学者選抜合格者発表専用Webサイトに合格者の受験番号を掲載する。

8 一次入試等への出願

推薦入試Aに出願し合格が内定した者は、一次入試及び二次入試に出願することはできない。

推薦入試 B

1 実施学科

推薦入試A実施学科及び爽風館高等学校を除く全ての学科で実施する。

p10～16【表1】参照

2 募集

(1) 募集人員

① 普通科・専門学科は、入学定員の20%以内で、学校ごとに定める。

ただし、安心院高等学校普通科については入学定員の20%以内、国東高等学校全学科については入学定員の30%以内、久住高原農業高等学校農業科については入学定員の50%以内、日田林工高等学校林業科については入学定員の40%以内で学校ごとに定める。そのうち、全国募集により県外から志願する者（以下「全国募集志願者」という。）については、安心院高等学校普通科及び国東高等学校全学科は入学定員の10%程度、久住高原農業高等学校農業科は入学定員の30%程度、日田林工高等学校林業科は入学定員の20%程度（以下「全国募集枠」という。）とする。

② 総合学科は、入学定員の30%以内で、学校ごとに定める。

p10～16【表1】参照

(2) 推薦要件

スポーツ活動、文化活動、その他の活動において成果を収めた者等で、詳細は学校ごとに定める。

p10～16【表1】参照

3 出願

(1) 出願は1校（併設定時制及び分校は1校とみなす）・1学科に限るものとする。

(2) 職業に関する同一大学科内に二つ以上の学科が設置されている高等学校においては、職業に関する同一大学科内における第2志望を認める。

4 願書等提出期間

令和7年1月21日（火） ～ 令和7年1月24日（金）

- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

5 出願手続

(1) 志願者の行う手続

志願者は、次の表に示す関係書類を在籍又は出身中学校長を経て、提出期間内に志願先の高等学校長に提出しなければならない。

推薦入学者選抜入学願書 (様式1号)	志願者全員
入学考査料	志願者全員
大分県立高等学校入学志願許可書 (様式11号の3)	県外から本県の全日制課程を志願する者 (p52～53 参照)
志願承諾書	高等専門学校、高等学校に在籍のまま志願する者

- ・ 志願承諾書は、任意様式で、在籍する高等専門学校、高等学校が作成したもの。

(2) 中学校長の行う手続

① 推薦入学志願者の決定

中学校長は、被推薦者の決定に当たっては、校長、副校長、教頭及び教員をもって組織する推薦委員会を設置し、厳正、公平を期するものとする。

② 書類の提出

ア 中学校長は、(1)の志願者の提出書類を提出期間（1月21日～1月24日）内に公文書（様式4号）をもって、志願先の高等学校長に提出するものとする。

イ 中学校長は、次の表に示す書類を作成し、提出期間内に公文書（様式4号及び様式13号）をもって、それぞれの提出先に提出するものとする。

提出先	提出書類	提出期間	備考
高等学校長	調査書 (様式9号) 推薦書 (様式2号) 教科学習成績一覧表 (様式10号)	1月21日(火) 午前9時 ～ 1月24日(金) 正午	教科学習成績一覧表は、過年度卒業者及び県外中学校からの志願者（県外隣接中学校から許容する高等学校に出願する場合を除く）については提出不要である。
高校教育課長	教科学習成績一覧表 (様式10号)		

- ・ 中学校長は、やむを得ない事情で調査書等を提出できないときは、県教育委員会の指示を受けるものとする。
- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

(3) 高等学校長の行う手続

① 高等学校長は、提出された出願関係書類が適正であると認めたときは、**受験票と入学考査料領収書**を志願者に交付する。

② 高等学校長は、必要があるときは、出願書類の内容について、中学校長に説明を求めることができる。

6 入学者の選抜

(1) 検査日及び検査内容

令和7年2月4日（火） 令和7年2月5日（水）	} 面接、小論文
----------------------------	--------------------

(2) 検査場

検査場は、出願先高等学校（分校を含む）とする。

(3) 選抜の方法

高等学校長は、調査書、推薦書、面接及び必要に応じて実施する小論文の結果を資料として行う選抜に基づいて合格内定者を決定する。なお、推薦要件に係る評価については、選抜の資料におけるスポーツ活動、文化活動、その他の活動における中学校時の実績や高校入学後の将来性・期待度に係る内容を評価する。

選抜に当たっては、校長、副校長、教頭及び教職員をもって組織する選抜委員会を設置し、厳正、公平を期するものとする。

7 選抜結果の通知及び合格者の発表

- (1) 各高等学校長は、選抜結果について、令和7年2月6日（木）までに中学校長あて、推薦入学者選抜合格内定通知書（様式6号の1）を、公文書（様式5号）をもって簡易書留郵便にて**発送する**。その際、合格内定者とならなかった者については「**入学考査料領収証明書**」を同封する。また、合格内定者の発表を令和7年2月6日（木）に中学校長に対して令和7年度大分県立高等学校入学者選抜合格内定者発表専用Webサイトにて行う。
- (2) 合格者の発表は一次入試の合格者発表と同時に令和7年度大分県立高等学校入学者選抜合格者発表専用Webサイトに合格者の受験番号を掲載する。

8 一次入試等への出願

推薦入試Bに出願し合格が内定した者は、一次入試及び二次入試に出願することはできない。

【表 1】

推薦入試に係る学校ごとに定める事項

- (注) 各学校の推薦要件中にある「成果」や「実績」については、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため中止、延期又は規模縮小等となった大会・行事等に志願者が参加出来なかったことのみをもって不利益を被ることがないよう、参加することが出来た大会・行事等における成果・実績、あるいは日頃の活動状況を評価する。
- (注) 各学校・学科の「スクール・ポリシー（グラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）」については、各学校のホームページ又は大分県教育委員会のホームページを参照すること。

〔全 日 制 〕

高 等 学 校	入学定員に 対する募集 人員の割合	推 薦 要 件	小 論 文	適 性 検 査
中 津 南	普通科 10%以内	本校のアドミッション・ポリシーを踏まえ、志願するにふさわしく、次の項の全てに該当する者 1. 本校を志望する動機及び理由が明確かつ適切であり、人物が優れている者 2. 学習意欲に富み、本校の教育課程を修得することが見込まれる者 3. スポーツ活動・文化活動等において、団体もしくは個人として顕著な実績を上げた者または優れた技能・資質を有する者で、入学後も本校における活動で活躍が期待できる者	○	
中 津 南 耶 馬 溪 校	普通科 20%以内	本校を志望する動機・理由が明確であり、人物に優れ、入学後は意欲的に学習に取り組む意志のある者で、次の要件のいずれかを満たす者 1. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動等に積極的に取り組んだ者で、入学後も意欲的に取り組む意志のある者 2. 地域の活動や奉仕活動に積極的に取り組んだ者で、将来、地域産業の振興・発展に貢献する意欲のある者	○	
中 津 北	普通科 15%以内	本校を志望する動機、理由が明白かつ適切であり、次の事項を全て満たす者 1. 人物として優れており、調査書の各記録が志望するにふさわしい者 2. 学習意欲に富み、本校の教育課程を修得する見込みがある者 3. 体育・文化・その他の活動において、積極的に取り組み、成果を収めた者で、その成果を入学後の生活に活かす意志のある者	○	
中 津 東	全学科 20%以内	本校の「スクール・ポリシー」を十分に理解するとともに、当該学科の志望動機・理由が明白で、次のいずれかに該当する者 1. スポーツ活動や文化活動において優れた成果を収めた、または優れた能力を有しており、入学後の各活動で活躍が期待される者 2. 生徒会活動やボランティア活動等において積極的な取り組みや成果を収め、入学後の各活動で意欲的に取り組む意思のある者	○	
宇 佐	普通科 13%以内	本校が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、本校を志望する動機・理由が明確かつ適切であり、本校の教育課程を修得する見込みがある者で、次のいずれかの要件を満たす者 1. 学習意欲に富み、入学後も積極的に学習していくことが期待できる者 2. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動等において優れた実績または資質を有し、本校の活性化に貢献する意欲のある者	○	
宇佐産業科学	全学科 20%以内	基本的生活習慣が確立され、人物が優れており、当該学科の教育課程を修得する見込みがあり、次のいずれかの要件を満たす者 1. 産業振興 志望する学科のアドミッション・ポリシーに合致し、当該学科を志望する動機、理由が明白である者 2. スポーツ活動 中学校3年間において団体・個人競技にかかわらず熱心に部活動に取り組み、入学後各種目で活躍が期待される者 3. 文化活動・生徒会活動・その他 文化活動・生徒会活動や地域でのボランティア活動等に積極的に参加し、善行等の活動が認められる者	○	
安 心 院	普通科 20%以内 (そのうち、全国募集志願者については入学定員の10%程度とする。)	基本的生活習慣が確立されており、本校の教育課程を修得する見込みがあり、次のいずれかの要件を満たす者 1. 自己の夢の実現に向けた目標を持ち、粘り強く挑戦し、自己成長させようとする者 2. 部活動、生徒会活動、ボランティア活動、地域貢献活動等の諸活動を通して、お互いのよさや価値観を認め合いながら、多様な他者と協働できる者	○	

高等学校	入学定員に対する募集人員の割合	推薦要件	小論文	適性検査
高田	普通科 20%以内	本校を志望する動機及び理由が明確で、基本的な生活習慣が確立されており、人物が優れているとともに、学習意欲が旺盛、かつ本校の教育課程を修得する見込みのある者で、次のいずれかの項目に該当する者 1. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動等において、継続的に取り組み、成果を収めた者で、入学後もその成果をさらに向上、発展させようとする意志のある者 2. 地域の行事、ボランティア活動等に積極的に取り組み、入学後も地域について学び、地域課題の発見・解決に取り組もうとする意欲のある者	○	
国東	普通科 30%以内 (そのうち、全国募集志願者については入学定員の10%程度とする。)	本校への入学を強く希望し、夢や目標に向かって努力を惜しまず、学習意欲に富み、本校の教育課程を修得する見込みのある者で、次の事項のいずれかの要件を満たす者 1. スポーツ活動・文化活動において、団体・個人競技に関わらず、優れた成績を収めた者、または優れた能力を有し、入学後本校の既存の部活動等で活躍が期待される者 2. 生徒会活動やボランティア活動等に積極的に取り組み、その成果を高校生活でも継続的に活かす意思のある者 3. 職業体験等に積極的に参加し、今後、地域産業の振興・発展に貢献する意欲のある者 4. 宇宙視点で地球課題の解決に向けた探究活動に主体的に取り組む意欲のある者	○	
	園芸ビジネス科 環境土木科 電子工業科 30%以内 (そのうち、全国募集志願者については入学定員の10%程度とする。)	本校への入学を強く希望し、志望する学科のアドミッション・ポリシーに合致しており、学習意欲に富み、本校の教育課程を修得する見込みのある者で、次の事項のいずれかの要件を満たす者 1. スポーツ活動・文化活動において、団体・個人競技に関わらず、優れた成績を収めた者、または優れた能力を有し、入学後本校の既存の部活動等で活躍が期待される者 2. 生徒会活動やボランティア活動等に積極的に取り組み、その成果を高校生活でも継続的に活かす意思のある者 3. 職業体験等に積極的に参加し、今後、地域産業の振興・発展に貢献する意欲のある者	○	
杵築	普通科 15%以内	次の各項のすべてに該当する者 1. 本校が掲げるアドミッション・ポリシーに合致する者 2. 調査書等の各記録から、スポーツ活動、文化活動、その他の活動において顕著な成果や資質が認められる者 3. 卒業後の進路に明確な目標を持ち、その実現を目指すための取組を継続する意志のある者	○	
日出総合	農業経営科 機械電子科 20%以内 総合学科 30%以内	本校の教育課程を修得する見込みがあり、次の各項の全てに該当する者 1. 志望する学科に対する目的意識が明白で、本校で学ぶ意欲・熱意を有する者 2. 思いやりの心を持ち、仲間と協働して高校生活に取り組む意欲のある者 3. 基本的な生活習慣が確立され、中学校時代に学校行事、生徒会活動、部活動、ボランティア活動、地域交流などに積極的に取り組んできた者	○	
別府鶴見丘	普通科 10%以内	次の二つの要件1、2をともに満たす者 1. 本校の教育課程を修得する見込みがあり、志望する動機・理由が明白かつ適切で、人間性豊かで、学習意欲のある者 2. スポーツ活動や文化活動等において優れた能力・特性を持ち、それを学校生活において更に充実させようとする強い意欲を有する者で、下記のいずれかに該当する者 ① スポーツ活動 ア. 団体・個人競技にかかわらず、県レベル以上の大会で活躍した者 イ. アに該当しない場合でも、優れた能力を有する者または将来性の高い者 ② 文化活動 ア. 県レベル以上の大会またはコンクールにおいて、優れた成績を収めた者 イ. アに該当しない場合でも、文化的に優れた能力を有する者または将来性の高い者 ③ その他の活動 ア. 生徒会・ボランティア活動等において、顕著な実績をあげたと認められる者 イ. 地域社会の発展や課題の解決に向けた探究活動の実践又は高い関心・意欲を持つ者	○	

高 等 学 校	入学定員に対する募集人員の割合	推 薦 要 件	小論文	適性検査
別 府 翔 青	普通科 15%以内 商業科 20%以内	本学科のアドミッション・ポリシーを理解するとともに、本校への志望する動機や理由が明確、かつ適切であり、本校・学科の教育課程を修得する見込みのある者で、次の事項のいずれかに該当する者 1. スポーツ活動や文化活動において優れた資質・能力を有し、本校・学科の活性化に貢献する意欲のある者 2. 生徒会活動やボランティア活動等において積極的に取り組んだ者で、本校・学科の活性化に貢献する意欲のある者	○	
	グローバル コミュニケーション科 75%以内	本学科のアドミッション・ポリシーを理解するとともに、本校への入学を強く希望し、かつ本校・学科の教育課程を修得する見込みのある者で、次の事項のいずれかに該当する者 1. 国際交流や異文化理解への学習に対する意欲を有し、将来、国際的な視野で社会に貢献しようとする者 2. 外国語学習に意欲があり、各種検定試験やコンテスト等に積極的に取り組み、語学力向上を目指す者	○	○
大分上野丘	普通科 6%以内	次の各項目の全てに該当する者 1. 本校が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、入学後も本校の活性化に期待ができる者 2. スポーツ活動、文化活動、その他の活動を継続的にを行い、顕著な成果を収めた者 3. 人物に優れ、学習意欲が旺盛で、本校の教育課程を修得する見込みがある者 ただし、2については下記のそれぞれのいずれかに該当する者 (スポーツ活動) ① 全国大会・九州地区大会またはそれに準ずる大会に出場した者 ② 県大会でベスト4以上の成績を収めた者 (①、②ともに団体種目の場合、正選手として活躍した者) ③ ①、②には該当しないが、その活動が優れていたと認められる者 (文化活動) ① 全国または九州地区レベルの大会で優秀な成績を収めた者 ② 県レベルの大会で1位または2位に相当する成績を収めた者 (①、②ともに団体種目の場合、団体の中心メンバーとして活躍した者) ③ ①、②には該当しないが、その活動が優れていたと認められる者 (その他の活動) ① 生徒会活動・ボランティア活動等に積極的かつ継続的に取り組み、顕著な成果を収めた者	○	
大 分 舞 鶴	普通科 16%以内	本校を志望する動機及び理由が明確かつ適切であり、人物が優れているとともに本校の教育課程を修得し得る見込みのある者で、次のいずれかの項目に該当する者 1. スポーツ活動、文化活動において、継続的に努力し優れた成果を収めた者または優れた能力を有する者 2. 生徒会活動やボランティア活動等に積極的かつ継続的に取り組んだ者で、今後もしリーダーシップを発揮することが期待できる者	○	
	理数科 30%以内	次の各項目のすべてに該当する者 1. 理数に関する高い基礎学力を有しており、科学オリンピックやコンクールなど理数に関する諸活動に主体的に取り組む高い意欲のある者 2. 最先端で高度な科学に対する興味・関心を有し、課題研究や国内外の科学交流など探究活動に主体的に取り組むことができる者 3. 理数科での学びを活かし、将来、理工農学系の研究者や技術者、医歯薬系の専門職などとして、未来を創造する高い志のある者	○	○
大分雄城台	普通科 13%以内	本校への入学を強く希望し、志望する動機・理由が明白かつ適切であり、以下の全ての要件を備えていること 1. 学習意欲が旺盛で、本校の教育課程を修得し得る見込みのあること 2. 基本的生活習慣が確立され、人物が優れていること 3. 生徒会活動、スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動等で十分な成果を収めており、本校における活動で活躍が期待できること	○	

高 等 学 校	入学定員に対する募集人員の割合	推 薦 要 件	小論文	適性検査
大 分 南	普通科 20%以内	本校普通科が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、次の各項のいずれかに該当する者 1. スポーツ活動、文化活動において、継続的に努力し優れた成果を収め、または優れた能力を有し、本校において入学後の学校活動に活躍が期待できる者 2. 生徒会活動やボランティア活動等に積極的に参加した者で、今後リーダーとしての活躍が期待できる者	○	
	福祉科 20%以内	本校福祉科が掲げるアドミッション・ポリシーに合致し、次の各項のいずれかに該当する者 1. スポーツ活動、文化活動において、継続的に努力し優れた成果を収め、または優れた能力を有し、本校において入学後の学校活動に活躍が期待できる者 2. 社会福祉体験活動や生徒会活動、ボランティア活動等に積極的に参加した者で、今後リーダーとしての活躍が期待できる者	○	
大 分 豊 府	普通科 6%以内	次の項目のすべてに該当する者 1. 本校の教育内容を理解し、入学への意志を強く持ち、高い志を持って本校の活性化に寄与することが期待される者 2. 学習意欲に富み、主体的・探究的な学びを通して本校の教育課程を修得できる見込みがあり、人間性豊かな者 3. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動等に積極的かつ継続的に取り組み、優れた成果を収めた者	○	
大 分 工 業	全学科 20%以内	本校・学科を志望する明確な動機、理由および適性を有し、本校の教育課程を修得し得る見込みがある者の内、次の1、2のいずれかの要件に該当する者 1. スポーツ活動、文化活動、ものづくり等の科学技術活動、その他の活動に積極的に取り組み、成果を収めた者で、入学後もその活動を活かし、充実した学校生活を送ろうとする意志のある者 2. 当該学科で修得する知識・技術・資格を活かし、将来地域はもとより広く産業の振興・発展に寄与しようとする意志のある者	○	
大 分 商 業	全学科 20%以内	本校を志望する理由が明確かつ適切であり、学習意欲に富み、教育課程を修得する見込みのある者で、次の事項のいずれかに該当する者 1. 文化活動・スポーツ活動において熱心に活動した者で、本校の既存の部活動等で活躍が期待できる者 2. 生徒会活動やボランティア活動、その他の活動等において積極的に取り組んだ者で、本校の活性化に貢献する意欲のある者 3. 本校の生徒であることに責任と誇りを持ち、新しい時代のビジネスモデルの創造に挑戦することを通して、社会に貢献する意欲のある者	○	
芸 術 緑 丘	音楽科 100%	次の各項のすべてに該当する者 1. 音楽への適性を有し、本校の教育課程を修得する見込みのある者 2. 音楽への幅広い興味・関心を有し、深く学びたいという意欲のある者	○	○
	美術科 100%	次の各項のすべてに該当する者 1. 美術への適性を有し、本校の教育課程を修得する見込みのある者 2. 美術への幅広い興味・関心を有し、深く学びたいという意欲のある者	○	○
大 分 西	総合学科 25%以内	次の二つの要件1、2をともに満たす者 1. 本校の教育目標、スクール・ポリシーを理解し、志望の動機、理由が明確である者 2. 下記の①～②のいずれかに該当し、本校の教育課程を修得する見込みがある者 ① スポーツ活動、文化活動、生徒会活動等に優れた実績を残し、その成果を本校においても向上、発展させようとする者 ② 本校の総合学科の学びの特性に照らして、優れた資質を有し、その資質を本校においても向上、発展させようとする者	○	
大 分 鶴 崎	普通科 15%以内	本校のアドミッション・ポリシーを十分に理解したうえで、次の要件をすべて満たす者 1. 基本的な生活習慣が確立され、人物が優れている者 2. 高い学習意欲を持ち、志望の動機・理由が明白かつ適切で、本校の教育課程を修得する見込みがある者 3. スポーツ活動、文化活動、その他の活動において成果をあげた者で、入学後も本校における活動で活躍が期待できる者	○	
鶴 崎 工 業	全学科 20%以内	本校のアドミッション・ポリシーに合致し、次の要件をすべて満たす者 1. 本校を志望する動機・理由が明白で、積極的に学ぶ意志があり、当該学科の教育課程を修得する見込みがある者 2. スポーツ活動・文化活動等において顕著な成績を収め、本校においても活動の意志を持つ者	○	

高 等 学 校	入学定員に対する募集人員の割合	推 薦 要 件	小 論 文	適 性 検 査
情 報 科 学	全学科 20%以内	志望する学科のアドミッション・ポリシーに合致し、学習意欲が旺盛で人物的に優れ、志望する動機、理由が適切であり、以下の要件のいずれかを満たす者 1. 当該学科の特色を理解し、将来のIT産業や地域産業の担い手となる意志のある者 2. 特別活動、その他の活動に努力した者で、その成果を高校生活に活かしていく意志のある者	○	
大 分 東	普通科 20%以内	次の各項のいずれにも該当する者 1. 学習意欲を持ち、当該学科を志望する動機・理由が明白かつ適切である者 2. 基本的生活習慣が確立されており、人物が優れている者 3. これまで、スポーツ・文化・生徒会・ボランティア等の活動に積極的に取り組み、入学後も意欲的に取り組む意志のある者	○	
	園芸ビジネス科 園芸デザイン科 20%以内	次の各項のいずれにも該当する者 1. 学習意欲を持ち、当該学科を志望する動機・理由が明白かつ適切である者 2. 農業に強い興味・関心を持ち、農業関連の就職・進学を志す者 3. 基本的生活習慣が確立されており、人物が優れている者 4. これまで、スポーツ・文化・生徒会・ボランティア等の活動に積極的に取り組み、入学後も意欲的に取り組む意志のある者	○	
由 布	普通科 10%以内	本校の教育課程を修得する見込みがあり、次のすべての要件を満たす者 1. 本校の定めるアドミッション・ポリシーを踏まえるとともに、志望する動機・理由が明白かつ適切で、入学後、意欲的な活動が期待される者 2. 基本的生活習慣が確立されており、人物が優れている者 3. 次の①、②のいずれかに該当する者 ① スポーツ活動、文化活動等において、高い能力を有する者 ② 生徒会活動、地域の活動等に積極的かつ継続的に取り組み成果をあげた者、もしくは活動の中心的な役割を担った者	○	
臼 杵	普通科 15%以内	次の二つの要件をともに満たす者 1. 本校の教育課程を修得する見込みがあり、志望する動機・理由が明白かつ適切で、人物が優れている者 2. これまでの活動の成果を高校生活で生かそうとする意欲があり、以下の①、②のいずれかに該当する者 ① スポーツ活動や文化活動において、チャレンジ精神をもって継続的に活動し、優れた実績を示した者または優れた資質を有する者 ② 生徒会活動、ボランティア活動等において、地域との関わりや他者との協働を大切にして積極的かつ継続的に活動し、優れた実績を示した者またはリーダーとして優れた資質を有する者	○	
海 洋 科 学	海洋科 20%以内	本校で学ぶことに強い意欲を持ち、次の項目の全てに該当する者 1. 水産や海洋に興味・関心を持ち、将来、水産や海洋関連産業の担い手になることを希望している者 2. 実習などの集団活動に必要な協調性を大切にし、多様性を尊重できる者	○	
津 久 見	全学科 20%以内	本校を志望する動機および理由が明白かつ適切で、本校の教育課程を修得する見込みを有し、以下の要件のいずれかを満たす者 1. 志望する学科の学習に主体的に取り組み、他者と協調・協働し社会の発展に貢献しようとする意志のある者 2. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動、ボランティア活動等において活躍した者で、入学後もその成果を活かす意志のある者	○	
佐 伯 鶴 城	普通科 15%以内	次の各項のすべてに該当する者 1. 本校を志望する動機、理由が明白かつ適切である者 2. 本校のアドミッション・ポリシーに合致し、人物・学業にすぐれている者で、文武両道を成し遂げようという気概のある者 3. スポーツ活動、文化活動、探究活動、その他の活動のいずれかにおいて、すぐれた実績や高い資質・能力を有し、入学後、本校の活性化に寄与することが大いに期待できる者	○	

高 等 学 校	入学定員に対する募集人員の割合	推 薦 要 件	小 論 文	適 性 検 査
佐 伯 豊 南	食農ビジネス科 工業技術科 20%以内 総合学科 30%以内	次の事項の全てに該当する者 1. 基本的生活習慣が確立されており、人物が優れている者 2. 当該学科を志望する動機や理由が明確で、意欲的に学習に取り組む意志のある者 3. これまでスポーツ・文化・生徒会・ボランティア等の活動に積極的に取り組み、入学後も意欲的に取り組む意志のある者	○	
	福祉科 20%以内	基本的生活習慣が確立され、本校で学ぶことに強い意欲を持つ者で、次の各項のいずれかに該当する者 1. 社会福祉関連の職業を志す者 2. 社会福祉に強い興味・関心を持ち、福祉体験活動やボランティア活動等に積極的に取り組む意志のある者	○	
三 重 総 合	全学科 20%以内	本校のアドミッション・ポリシーに合致し、志望する動機、理由が明確かつ適切であり、基本的生活習慣が確立され、本校の教育課程を修得できる見込みのある者 1. スポーツ活動、生徒会活動、文化活動等において継続的に活動した者で、今後の活躍が期待できる者 2. 将来、本校で修得した知識・技能・資格を活かし、地域の振興・発展に貢献する意欲のある者	○	
竹 田	普通科 15%以内	本校のアドミッション・ポリシーを理解しており、次の各項の全てに該当する者 1. 人物が優れ、本校を志望する動機、理由が明確かつ適切である者 2. スポーツ活動・文化活動・生徒会活動・ボランティア活動等のいずれかにおいて努力が認められる者 3. 学習意欲に富み、本校の教育課程を修得する見込みがある者	○	
久住高原農業	農業科 50%以内 (そのうち、全国農協志願者については入学定員の30%程度とする。)	人物が優れており、学習意欲のある者で、次の項目のいずれかに該当する者 1. 本校を志望する動機及び理由が明確である者 2. 全国から農業に対して意欲ある生徒が互いに切磋琢磨する中で、県農業振興を担う意欲がある者 3. 農業に興味関心を持ち、地域の担い手として地域農業の活性化を志す者 4. スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、その他の活動において優秀な成果を収めた者	○	
玖 珠 美 山	普通科 15%以内	本校への志望の動機が明白かつ適切で、本校のアドミッション・ポリシーに合致し、かつ次の事項の全てに該当する者 1. 基本的生活習慣が確立され、学習意欲に富み、本校の教育課程を修得する見込みのある者 2. スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、その他の活動で成果を収め、本校でも活動の意志を有する者	○	
	地域産業科 20%以内	本校への志望の動機が明白かつ適切で、本校のアドミッション・ポリシーに合致し、かつ次の事項の全てに該当する者 1. 基本的生活習慣が確立され、学習意欲に富み、本校の教育課程を修得する見込みのある者 2. スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動、その他の活動で成果を収め、本校でも活動の意志を有する者 3. 地域連携や地域社会の発展に貢献する意欲のある者	○	
日 田	普通科 12%以内	本校のアドミッション・ポリシーに合致し、次の各項のすべてに該当する者 1. 学習意欲に富み、本校の教育課程を修得する見込みのある者 2. 基本的生活習慣が確立されており、本校を志望する動機が明白かつ適切である者 3. 次の①～⑤のいずれか1つに該当し、入学後も本校における活動で活躍が期待できる者 ① スポーツ活動において積極的かつ継続的に活動し、各種大会ですぐれた成績を収めた者、あるいは運動技量が特にすぐれていると認められる者 ② 文化活動において積極的かつ継続的に活動し、各種大会に入賞するなど、すぐれた実績をあげたと認められる者 ③ 探究的な学習活動に積極的かつ継続的に取り組み、すぐれた活動の実績をあげたと認められる者 ④ 生徒会活動において積極的かつ継続的に活動し、役員として活躍するなど、リーダーとしての資質を有すると認められる者 ⑤ ボランティア活動において校内外の活動に積極的かつ継続的に参加し、すぐれた実績をあげたと認められる者	○	

高等学校	入学定員に対する募集人員の割合	推薦要件	小論文	適性検査
日田三隈	総合学科 30%以内	本校のアドミッション・ポリシーに合致し、志望する動機、理由が明確であり、本校の教育課程を修得する見込みのある者で、次の各項のいずれかに該当する者 1. 総合学科での学習に意欲を持ち、将来、地域産業の振興・発展に貢献する意志のある者 2. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動、奉仕活動などに積極的かつ継続的に取り組んだ者で、高校生活においてもその活動を継続またはその成果を十分に生かした活動を行う意志のある者	○	
日田林工	林業科 40%以内 (そのうち、全国募集志願者については、入学定員の20%程度とする。)	次のいずれかに該当し、基本的な生活習慣が身に付いており、学習に意欲的に取り組む者 1. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動、社会奉仕活動等において成果を収めた者または努力が認められる者で、その活動を高校生活に活かす意志のある者 2. 該当学科を志望する動機・理由が明白で、地域の活性化や地域産業の継承に意欲・関心のある者 3. 全国から林業に対して意欲ある生徒が互いに切磋琢磨する中で、林業振興を担う意欲がある者	○	
	機械科 電気科 建築土木科 20%以内	次のいずれかに該当し、基本的な生活習慣が身に付いており、学習に意欲的に取り組む者 1. スポーツ活動、文化活動、生徒会活動、社会奉仕活動等において成果を収めた者または努力が認められる者で、その活動を高校生活に活かす意志のある者 2. 該当学科を志望する動機・理由が明白で、地域の活性化や地域産業の継承に意欲・関心のある者	○	

(注) ○：実施する。 空欄：実施しない。

[定 時 制]

高等学校	入学定員に対する募集人員の割合	推薦要件	小論文	適性検査
中津東	全学科 20%以内	次の各項のすべてに該当する者 1. 本校を志望する動機・理由が明白であり、当該学科に対する興味・関心を有し、学習意欲に富む者 2. 基本的な生活習慣が確立されており、卒業後の目標や夢に向かって努力する者 3. 次の①、②のいずれかに該当する者 ① 入学後は働きながら学び、将来、地域産業の発展・振興に貢献する意欲のある者 ② 同一事業所に1年以上勤務し、勤務状態が良好である者	○	
大分工業	全学科 10%以内	次の各項の全てに該当する者（ただし、本年度中学校卒業予定者は、1を満たす者とする。） 1. 本校のアドミッション・ポリシーに合致し、志望する動機、理由が明白かつ適切であり、学習意欲のある者 2. 同一勤務場所に1年以上勤務している者	○	
日田	普通科 20%以内	次の各項のいずれかに該当する者 1. 志望する動機、理由が適切であり、自ら学ぶ意欲を持ち、学校生活全般において積極的に取り組む意志のある者 2. 勤労意欲を持ち、学業との両立ができる者	○	

(注) ○：実施する。 空欄：実施しない。

【表 2】

推薦入試 A に係る適性検査の内容

学校名	適性検査の日程・内容															
別 府 翔 青	【グローバルコミュニケーション科】 1. 日 程 2月4日（火）小論文、適性検査、面接 ※小論文、面接は日本語 2. 適性検査の内容 英語のコミュニケーション能力を総合的にみる、以下形式の検査 ・適性検査Ⅰ 英語リスニング ・適性検査Ⅱ 英語音読と英問英答を含む個人面接															
大 分 舞 鶴	【理数科】 1. 日 程 2月4日（火）小論文、適性検査、面接 ※小論文は英文、データ、図表を含む場合もある 2. 適性検査の内容 ・数学的適性検査：数学の基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力など、数学的な問題発見・解決に必要な能力を問う記述式の検査 ・科学的適性検査：理科の基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力など、科学的な課題発見・探究・解決に必要な能力を問う記述式の検査															
芸 術 緑 丘	【音楽科】 1. 日 程 2月4日（火）適性検査 2月5日（水）小論文、面接 ※小論文は 600 字、50 分間 ※面接は個別面接、5 分程度 2. 適性検査の内容 <専攻> ○声楽 ○ピアノ ○弦楽器（バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス） ○木管楽器（フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サキソフォン） ○金管楽器（ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ） ○打楽器 ○作曲 ○音楽総合 <専攻別実技課題>（楽譜を見て演奏してよい） （ア）声楽専攻 ① コンコーネ 50 番より No.3（ハ長調）を母音で歌う。 ② 次の4曲より任意の1曲を選び、歌う。 <table><tr><th>曲 名</th><th>調</th><th>作 曲 者</th></tr><tr><td>浜辺の歌（2 番まで）</td><td>へ 長 調</td><td>成 田 為 三</td></tr><tr><td>早 春 賦（2 番まで）</td><td>変ホ長調</td><td>中 田 章</td></tr><tr><td>N i n a [ニーナ]</td><td>ホ 短 調</td><td>ペルゴレージ</td></tr><tr><td>Sebben crudele [たとえつれなくとも]</td><td>ニ 短 調</td><td>カルダーラ</td></tr></table> （注）指定以外の調で歌う場合は、出願の際に移調楽譜を、氏名を明記のうえ提出する。	曲 名	調	作 曲 者	浜辺の歌（2 番まで）	へ 長 調	成 田 為 三	早 春 賦（2 番まで）	変ホ長調	中 田 章	N i n a [ニーナ]	ホ 短 調	ペルゴレージ	Sebben crudele [たとえつれなくとも]	ニ 短 調	カルダーラ
曲 名	調	作 曲 者														
浜辺の歌（2 番まで）	へ 長 調	成 田 為 三														
早 春 賦（2 番まで）	変ホ長調	中 田 章														
N i n a [ニーナ]	ホ 短 調	ペルゴレージ														
Sebben crudele [たとえつれなくとも]	ニ 短 調	カルダーラ														

学校名	適性検査の日程・内容	
芸 術 緑 丘	(イ) ピアノ専攻 ① 次表の中から任意の1曲を選び、繰り返しなしで演奏する。 <table><tr><td>ツェルニー30 番練習曲、 ツェルニー40 番練習曲</td></tr></table> ② 任意のソナタより、1 楽章（緩徐楽章は除く）または同程度の任意の1 曲を、繰り返しなしで演奏する。	ツェルニー30 番練習曲、 ツェルニー40 番練習曲
	ツェルニー30 番練習曲、 ツェルニー40 番練習曲	
	(ウ) 弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器専攻 任意の1 曲を演奏する。	
	(エ) 作曲専攻 ① ピアノ実技 J.S バッハ：2 声のインヴェンション、または3 声シンフォニアより任意の1 曲を選び、演奏する。 ② 作曲課題 与えられた2 小節の動機を用いて、16 小節の単旋律を作曲する。制限時間 50 分。	
	(オ) 音楽総合専攻 ① 音楽理論に関する問題 『中学生の音楽1』（教育芸術社）所収の「音楽の約束」又は、『音楽のおくりもの1』（教育出版）所収の「楽典」 ② プレゼンテーション問題（a・b のどちらかを選択する。） a 「音楽の楽しさを地域の子どもに伝えるコンサートを企画し、プレゼンテーションを行ってください。」（実技を含まない） b 「将来、音楽を通してどのように社会に貢献するか考え、プレゼンテーションを行ってください。」（実技を含む） ※実技とは、部活動や授業で扱った曲の演奏をはじめ、ミュージカル、バレエ、ギター、リコーダー、民謡、ドラムなど、様々な形態の演奏・演技を指す。	
	3. 携行品 受験票、上履き、時計、筆記用具。 弦・管・打楽器専攻志願者は、それぞれの楽器。	
	【美術科】	
	1. 日 程 2月4日（火）適性検査Ⅰ 適性検査Ⅱ 2月5日（水）小論文、面接 ※小論文は600 字、50 分間 ※面接は個別面接、5 分程度	
	2. 適性検査の内容 ・適性検査Ⅰ 水彩画（180 分） 与えられたモデルを描く。※用紙（四つ切り画用紙）は同校で準備する。 ・適性検査Ⅱ 鉛筆素描（60 分） 与えられたモデルを描く。※用紙（八つ切り画用紙）は同校で準備する。	
	3. 携行品 受験票、昼食（2月4日のみ）、上履き、時計、筆記用具。 水彩用具一式（水彩絵具・パレット・絵筆・筆洗など）、 鉛筆素描用具一式（鉛筆・消しゴム・カッター・クリップなど）。 ※ 画板は同校で用意する。 ※ 透視枠（デッサンスケール等）は使用不可。	

・詳細については、各高等学校へ問い合わせること。

第8 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜

[募集人員と選抜の資料等]

募 集 人 員		入学定員を上限とする。
選 抜 の 資 料	調 査 書	○
	中高連携した学習の記録	○
	面 接	○
	小 論 文	△
出 願 期 間		1月21日（火）～1月24日（金）
検 査 日 程	面 接	2月4日（火）・2月5日（水）
	小 論 文	
合格内定の通知		2月6日（木）
合格者発表		3月14日（金）

(注) ○ 資料とする又は実施する。 △ 必要に応じて実施する。

1 実 施 学 科

安心院高等学校普通科

由布高等学校普通科

(以下、安心院高等学校、由布高等学校を「実施校」という。)

2 募 集 人 員

入学定員を上限とする。

3 応 募 資 格

実施校との間で連携型中高一貫教育を行う中学校を卒業した者又は令和7年3月に卒業見込みの者で、「中高連携した学習の記録」を提出できる者とする。

4 出 願 願

推薦入試との併願はできない。

5 願書等提出期間

令和7年1月21日（火） ～ 令和7年1月24日（金）

- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に必着のこと。

6 出 願 手 続

(1) 志願者の行う手続

志願者は、次の表に示す関係書類を在籍又は出身中学校長を経て、提出期間内に実施校の校長に提出しなければならない。

連携型中高一貫教育に係る入学者選抜 入学願書 (様式 1 号)	志願者全員
入 学 考 査 料	志願者全員
中 高 連 携 し た 学 習 の 記 録	志願者全員
志 願 承 諾 書	高等専門学校、高等学校に在籍のまま志願する者

- ・ 志願承諾書は、任意様式で、在籍する高等専門学校、高等学校が作成したもの。

(2) 中学校長の行う手続

- ① 中学校長は、(1)の志願者の提出書類を提出期間（1月21日～1月24日）内に公文書（様式4号）をもって、実施校の校長に提出するものとする。
- ② 中学校長は、次の表に示す書類を作成し、提出期間内に公文書（様式4号及び様式13号）をもって、それぞれの提出先に提出するものとする。

提 出 先	提 出 書 類	提 出 期 間	備 考
安心院高等学校長 由布高等学校長	調 査 書 (様式9号) 教科学習成績一覧表 (様式10号)	1月21日(火) 午前9時 ～ 1月24日(金) 正 午	教科学習成績一覧表は、 過年度卒業者については 提出不要である。
高 校 教 育 課 長	教科学習成績一覧表 (様式10号)		

- ・ 中学校長は、やむを得ない事情で調査書等を提出できないときは、県教育委員会の指示を受けるものとする。
- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

(3) 実施校の校長の行う手続

- ① 実施校の校長は、提出された出願関係書類が適正であると認めたときは、**受験票と入学考査料領収書**を志願者に交付する。
- ② 実施校の校長は、必要があるときは、出願書類の内容について、中学校長に説明を求めることができる。

7 入学者の選抜

(1) 検査日及び検査内容

令和7年2月4日（火）	}		面接
令和7年2月5日（水）			小論文（由布高等学校のみ）

(2) 検査場

検査場は、実施校とする。

(3) 選抜の方法

実施校の校長は、調査書、中高連携した学習の記録、面接及び必要に応じて実施する小論文の結果を資料として行う選抜に基づいて合格内定者を決定する。令和7年度においては、由布高等学校のみ小論文を実施する。

選抜に当たっては、校長、副校長、教頭及び教職員をもって組織する選抜委員会を設置し、厳正、公平を期するものとする。

8 選抜結果の通知及び合格者の発表

- (1) 実施校の校長は、選抜結果について、令和7年2月6日（木）までに中学校長あて、連携型中高一貫教育に係る入学者選抜合格内定通知書（様式6号の2）を公文書（様式5号）をもって簡易書留郵便にて発送する。その際、合格内定者とならなかった者については「入学考査料領収証明書」を同封する。また、合格内定者の発表を令和7年2月6日（木）に中学校長に対して令和7年度大分県立高等学校入学者選抜合格内定者発表専用 Web サイトにて行う。
- (2) 合格者の発表は一次入試の合格者発表と同時に令和7年度大分県立高等学校入学者選抜合格者発表専用 Web サイトに合格者の受験番号を掲載する。

9 一次入試等への出願

連携型入試に出願し合格が内定した者は、一次入試及び二次入試に出願することはできない。

第9 帰国・外国人生徒特別入学者選抜

[募集人員と選抜の資料等]

募 集 人 員		若 干 名
選 抜 の 資 料	調 査 書	○
	面 接	○
	小 論 文	○
出 願 期 間		1 月 21 日（火）～ 1 月 24 日（金）
検 査 日 程	面 接	2 月 4 日（火）
	小 論 文	
合格内定の通知		2 月 6 日（木）
合格者発表		3 月 14 日（金）

(注) ○ 資料とする又は実施する。

1 実 施 学 科

別府翔青高等学校グローバルコミュニケーション科

2 募 集 人 員

若干名

3 応 募 資 格

「第2 募集 2 応募資格」に該当する者で、次の(1)、(2)のいずれかに該当し、日本語習得の状況や学校制度の違いにより、志願が適当であると中学校長が判断した者とする。

- (1) 保護者の海外勤務等に伴う外国での在留期間が継続して3年以上の者で、帰国後満6年を経過していない者
- (2) 外国籍を有する者で、入国後の在日期間が満6年を経過していない者

4 出 願

出願は当該学校・学科に限るものとし、推薦入試及び連携型入試との併願はできない。

なお、出願予定者のいる中学校長は、令和6年12月2日（月）までに県教育委員会に連絡すること。

5 願書等提出期間

令和7年1月21日（火） ～ 令和7年1月24日（金）

- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に必着のこと。

6 出 願 手 続

(1) 志願者の行う手続

志願者は、次の表に示す関係書類を在籍又は出身中学校長を経て、提出期間内に別府翔青高等学校長に提出しなければならない。

帰国・外国人生徒特別入学者選抜入学願書 (様式 1 号)	志願者全員
入 学 考 査 料	志願者全員
大分県立高等学校入学志願許可書 (様式 11 号の 3)	県外から志願する者 (p52～53 参照)
志 願 承 諾 書	高等専門学校、高等学校に在籍のまま志願する者

・ 志願承諾書は、任意様式で、在籍する高等専門学校、高等学校が作成したもの。

(2) 中学校長の行う手続

- ① 中学校長は、(1)の志願者の提出書類を提出期間（**1月21日～1月24日**）内に公文書（様式 4 号）をもって、別府翔青高等学校長に提出するものとする。
- ② 中学校長は、次の表に示す書類を作成し、提出期間内に公文書（様式 4 号及び様式 13 号）をもって、それぞれの提出先に提出するものとする。

提 出 先	提 出 書 類	提 出 期 間	備 考
別 府 翔 青 高 等 学 校 長	調 査 書 (様式 9 号) 帰国・外国人生徒特別 入学者選抜志願に係る 申告書 (様式 20 号) 教科学習成績一覧表 (様式 10 号)	1月21日(火) 午前9時 ～ 1月24日(金) 正 午	教科学習成績一覧表は、 過年度卒業生及び県外 中学校からの志願者に ついては提出不要であ る。
高 校 教 育 課 長	教科学習成績一覧表 (様式 10 号)		

- ・ 中学校長は、やむを得ない事情で調査書等を提出できないときは、県教育委員会の指示を受けるものとする。
- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

(3) 別府翔青高等学校長の行う手続

- ① 別府翔青高等学校長は、提出された出願関係書類が適正であると認めたときは、**受験票と入学考査料領収書**を志願者に交付する。
- ② 別府翔青高等学校長は、必要があるときは、出願書類の内容について、中学校長に説明を求めることができる。

7 入学者の選抜

(1) 検査日及び検査内容

令和7年2月4日（火）・・・・・・ 面接（英語）、小論文（英語）

(2) 検査場

検査場は、別府翔青高等学校とする。

(3) 選抜の方法

別府翔青高等学校長は、調査書、面接及び小論文の結果を資料として行う選抜に基づいて合格内定者を決定する。

選抜に当たっては、校長、副校長、教頭及び教職員をもって組織する選抜委員会を設置し、厳正、公平を期するものとする。

8 選抜結果の通知及び合格者の発表

(1) 別府翔青高等学校長は、選抜結果について、令和7年2月6日（木）までに中学校長あて、帰国・外国人生徒特別入学者選抜合格内定通知書（様式6号の3）を、公文書（様式5号）をもって簡易書留郵便にて**発送する**。その際、合格内定者とならなかった者については「**入学査料領収証明書**」を同封する。また、合格内定者の発表を**令和7年2月6日（木）**に中学校長に対して令和7年度大分県立高等学校入学者選抜合格内定者発表専用 Web サイトにて行う。

(2) 合格者の発表は一次入試の合格者発表と同時に令和7年度大分県立高等学校入学者選抜合格者発表専用 Web サイトに合格者の受験番号を掲載する。

9 一次入試等への出願

帰国・外国人生徒特別入試に出願し合格が内定した者は、一次入試及び二次入試に出願することはできない。

第10 第一次入学者選抜

[募集人員と選抜の資料等]

募 集 人 員		各学校の入学定員から推薦入試・連携型入試合格内定者数を減じた数
選抜の資料	調 査 書	○
	学 力 検 査	○
	適 性 検 査	△
	面 接	△
出 願 期 間		2月14日(金) ～ 2月20日(木)
志願変更期間		2月25日(火) ～ 2月28日(金)
検査日程	学 力 検 査	3月11日(火)
	適 性 検 査	3月12日(水)
	面 接	
合 格 者 発 表		3月14日(金)

(注) ○ 資料とする又は実施する。 △ 必要に応じて実施する。

1 募 集

- (1) 募集人員は、各学校の入学定員から推薦入試及び連携型入試（安心院高等学校・由布高等学校のみ）合格内定者数を減じた数（大分豊府高等学校、安心院高等学校普通科・国東高等学校全学科・久住高原農業高等学校農業科・日田林工高等学校林業科の全国募集枠及び爽風館高等学校は別に定める）とし、令和7年2月6日（木）に県教育委員会において発表するものとする。
- (2) 職業に関する同一大学科内及び普通科と普通教科系の専門学科との間においては、二つ以上の学科をくくって募集することができるものとするが、このくくり募集を実施する高等学校、学科については、別に定めるところによる。（p80～81 参照）

2 出 願

- (1) 出願は1校（併設設時制及び分校は1校とみなす）・1部・1学科に限るものとする。
- (2) 推薦入試、連携型入試及び帰国・外国人生徒特別入試に合格が内定した者は、一次入試に出願することはできない。
- (3) くくり募集をする学科は、一つの学科とみなして志願すること。
- (4) 二つ以上の学科が設置されている高等学校においては、選抜の資料を満たす範囲で第2志望を認める。ただし、爽風館高等学校においては、学科間及びⅠ部、Ⅱ部、Ⅲ部の間で第3志望まで認める。

3 願書等提出期間

令和7年2月14日（金） ～ 令和7年2月20日（木）

- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に必着のこと。

4 出 願 手 続

- (1) 志願者の行う手続

志願者は、次の表に示す関係書類を在籍又は出身中学校長を経て、提出期間内に志願先の高等学校長に提出しなければならない。

第一次入学者選抜入学願書 (様式7号)	志願者全員
入学考査料	志願者全員 ただし、推薦入試、連携型入試及び帰国・外国人生徒特別入試出願者はp2を参照すること。
志望調査票（当該校指定のもの）	芸術緑丘高等学校音楽科志願者
大分県立高等学校入学志願許可書 (様式11号の4)	県外から本県 of 全日制課程及び爽風館高等学校定時制課程（Ⅲ部のみを志願する者を除く）を志願する者(p52～53 参照)
志願承諾書	高等専門学校、高等学校に在籍のまま志願する者

- ・ 志望調査票は、芸術緑丘高等学校で直接受け取るか同校ホームページからダウンロードすること。
- ・ 志願承諾書は、任意様式で、在籍する高等専門学校、高等学校が作成したもの。

(2) 中学校長の行う手続

- ① 中学校長は、(1)の志願者の提出書類を提出期間（2月14日～2月20日）内に公文書（様式14号）をもって、志願先の高等学校長に提出するものとする。
- ② 中学校長は、次の表に示す書類を作成し、提出期間内に公文書（様式13号及び様式14号）をもって、それぞれの提出先に提出するものとする。

提出先	提出書類	提出期間	備考
高等学校長	調査書 (様式9号) 教科学習成績一覧表 (様式10号)	2月14日(金) 午前9時 ～ 2月20日(木) 正午	教科学習成績一覧表は、過年度卒業者及び県外中学校からの志願者（県外隣接中学校から許容する高等学校に出願する場合を除く）については提出不要である。
高校教育課長	教科学習成績一覧表 (様式10号)		

- ・ 中学校長は、やむを得ない事情で調査書等を提出できないときは、県教育委員会の指示を受けるものとする。
- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。
- ・ 教科学習成績一覧表の高等学校長あての提出について、推薦入試（爽風館特別入試を含む）、連携型入試及び帰国・外国人生徒特別入試で出願した高等学校への再度の提出は不要である。
また、教科学習成績一覧表の高校教育課長あての提出については、推薦入試（爽風館特別入試を含む）、連携型入試及び帰国・外国人生徒特別入試で提出した学校は不要である。

(3) 高等学校長の行う手続

- ① 高等学校長は、提出された出願関係書類が適正であると認めたときは、**受験票と入学考査料領収書**を志願者に交付する。なお、発送する場合は**令和7年3月7日(金)**までに中学校に到着するようにすること。
- ② 高等学校長は、必要があるときは、出願書類の内容について、中学校長に説明を求めることができる。

5 志 願 の 変 更

- (1) 志願者は次の期間において、1回に限り、志願先の高等学校、分校、課程、同一校内の学科及び爽風館高等学校定時制課程においては部を変更することができる。

ただし、安心院高等学校普通科、国東高等学校全学科、久住高原農業高等学校農業科、日田林工高等学校林業科の全国募集志願者は、志願の変更はできない。

- (2) 志願変更期間

令和7年2月25日（火） ～ 令和7年2月28日（金）

- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、志願変更最終日は午前9時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、志願変更期間内に**必着**のこと。

- (3) 志願変更の手続

さきに出願した高等学校からの返付書類の受取や、変更先の高等学校への書類の提出等、**実際の手続は、志願者の在籍又は出身中学校長が責任を持ってこれを行うこと。**（「志願変更手続の概要図」p28 参照）

- ① 志願者の行う手続

ア 志願変更を希望する者は、**志願変更願（甲・乙）**（様式12号の1・2）を、在籍又は出身中学校長を経て、さきに出願した高等学校長に提出しなければならない。

イ 志願者は、さきに出願した高等学校からの**返付・交付書類**及び次の表(p28)による**入学考査料**を、在籍又は出身中学校長を経て、変更先の高等学校長に提出しなければならない。ただし、**第一次入学者選抜入学願書**（様式7号）は新たに作成すること。

- ② 中学校長の行う手続

ア 中学校長は、志願者から提出された**志願変更願（甲・乙）**（様式12号の1・2）に所定事項を記入した上で、公文書（様式15号）をもって、さきに出願した高等学校長に提出するものとする。

イ 中学校長は、志願者が新たに作成した**第一次入学者選抜入学願書**（様式7号）、さきに出願した高等学校からの**返付・交付書類**及び次の表による**入学考査料**を、公文書（様式15号）をもって、変更先の高等学校長に提出するものとする。ただし、**調査書**（様式9号）は、新たに作成すること。なお、いかなる理由があっても、変更先の高等学校長への提出は必ず行うこと。

- ③ さきに出願した高等学校長の行う手続

ア 高等学校長は、提出された**志願変更願（乙）**（様式12号の2）に所定事項を記入した上で、これを「**入学考査料領収証明書**」とともに交付する。

イ さきに提出された**出願書類**は全て返付する。

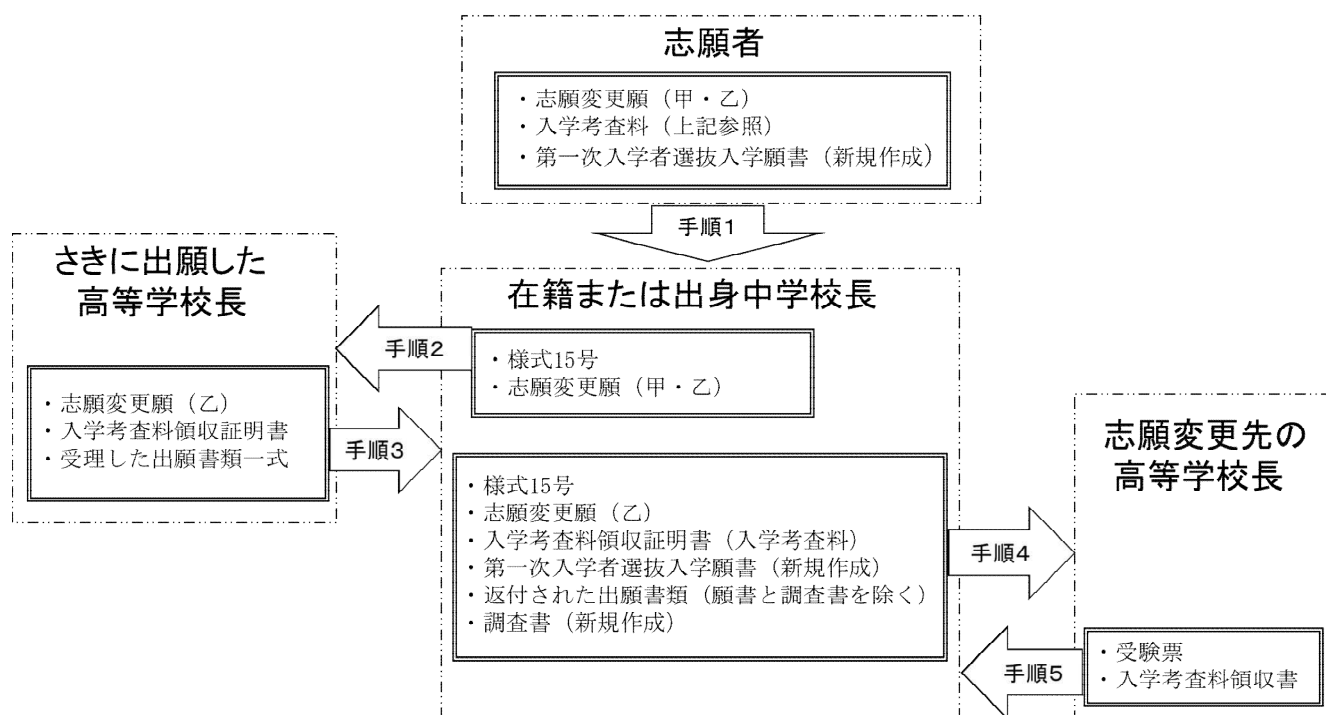
- ④ 変更先の高等学校長の行う手続

高等学校長は、提出された出願関係書類が適正であると認めたときは、**受験票と入学考査料領収書**を志願者に交付する。

[入学審査料]

さきに出願した高等学校の課程	変更先の高等学校の課程	入 学 考 査 料
全日制課程	全日制課程	入学審査料領収証明書を添付すること
	定時制課程	
定時制課程	全日制課程	入学審査料領収証明書を添付するとともに入学審査料の 差額 を納付すること
	定時制課程	入学審査料領収証明書を添付すること

《志願変更手続の概要図》



6 入学者の選抜

(1) 学力検査

- ① 問題は県教育委員会が作成する。
- ② 出題方針
 - ア 中学校学習指導要領に示されている各教科の目標に則し出題する。
 - イ 各教科とも知識及び技能とともに、思考力、判断力、表現力をみることができるように配慮する。
- ③ リスニングテスト
 - ア 外国語（英語）については、リスニングテストを含める。
 - イ 聴覚に障がいのある生徒が受験する場合には、「第5 受験上の配慮」（p3 参照）に沿って対応するものとする。
- ④ 出題教科及び配点
 - ア 出題教科は国語、社会、数学、理科、外国語（英語）とし、**3～5教科の範囲内**で学校ごとに定めるものとする。 p31【表3】参照
 - イ 各教科とも**60点満点**とする。
 - ウ 外国語で英語を履修しなかった者は、外国語（英語）の学力検査は受けなくてもよい。この場合換算点を算出して選抜の資料とする。

(2) 面接

各学校は必要に応じて面接を行うことができる。 p31【表3】参照

(3) 適性検査

別府翔青高等学校グローバルコミュニケーション科、大分舞鶴高等学校理数科及び芸術緑丘高等学校音楽科・美術科については、適性検査を行うことができる。ただし、令和7年度においては、芸術緑丘高等学校音楽科・美術科のみ適性検査を行う。 p32～33【表4】参照

(4) 検査日・日程等

① 検査日及び検査内容

令和7年3月11日（火）	・・・・・・・・・・	学力検査
令和7年3月12日（水）	・・・・・・・・・・	面接・適性検査（実施する学校のみ）

② 学力検査日程等

	開 始 ～ 終 了	時 間	教 科
第1回	9：30 ～ 10：20	50分	理 科
第2回	10：40 ～ 11：30	50分	国 語
第3回	11：50 ～ 12：40	50分	外国語（英語）
第4回	13：40 ～ 14：30	50分	社 会
第5回	14：50 ～ 15：40	50分	数 学

ア 学力検査を実施する教科については【表 3】に示す。

イ 集合時刻等の細部については、各高等学校長が定める。

ウ 受験者は受験票の他に、鉛筆（シャープペンシルでも可）、消しゴム、定規又は三角定規（ともに長さの目盛以外がついたものは使用できない。ただし、方眼が印刷されているものは使用できる。）及びコンパスを持参すること。

なお、時計を携帯する場合は、計算機能等が付属していないものを用意すること。

また、スマートフォン、スマートウォッチ、携帯電話等の電子通信機器は検査場に持ち込まないこと。

(5) 検査場

検査場は、出願先高等学校（分校を含む）とする。

7 選抜の方法

各高等学校長は、選抜の基本方針に基づき、次の①～③によって合格者を決定するものとする。

① 調査書の教科学習成績及び学力検査を実施しない教科の換算点の合計点（以下「調査書の合計点」という。）並びに学力検査成績の総合計点と調査書のその他の記載事項及び面接、適性検査を実施した場合はその結果を資料として総合的に判定する。

② 調査書の合計点と学力検査成績の比率は学校ごとに定める。 p31【表 3】参照

③ 5教科を課す高等学校では、学力検査配点の比重を変える**傾斜配点**を採用することができる。その場合の倍率は2倍を限度とする。

なお、傾斜配点を採用する教科や倍率については、学校ごとに定める。 p31【表 3】参照

8 合格者の発表

推薦入試、連携型入試、帰国・外国人生徒特別入試及び一次入試の合格者を合わせて、**令和7年3月14日(金)午前9時頃**（予定）に令和7年度大分県立高等学校入学者選抜合格者発表専用 Web サイトに合格者の受験番号を掲載する。

【表3】

一次入試に係る学校ごとに定める事項

[全 日 制]

高 等 学 校	学力検査実施教科					調査書の合計点と 学力検査成績の比率	傾斜 配点	面接	適性 検査
	国語	社会	数学	理科	英語	(調査書) : (学力検査)			
中 津 南	○	○	○	○	○	3 : 7			
中津南耶馬溪校	○	○	○	○	○	4 : 6		○	
中 津 北	○	○	○	○	○	3 : 7			
中 津 東	○	○	○	○	○	3 : 7			
宇 佐	○	○	○	○	○	3 : 7			
宇佐産業科学	○	○	○	○	○	3 : 7			
安 心 院	○	○	○	○	○	3 : 7			
高 田	○	○	○	○	○	3 : 7			
国 東	○	○	○	○	○	3 : 7			
杵 築	○	○	○	○	○	3 : 7			
日 出 総 合	○	○	○	○	○	4 : 6			
別 府 鶴 見 丘	○	○	○	○	○	3 : 7			
別 府 翔 青	○	○	○	○	○	3 : 7	英語1.5倍		
大 分 上 野 丘	○	○	○	○	○	3 : 7			
大 分 舞 鶴	○	○	○	○	○	3 : 7			
大 分 雄 城 台	○	○	○	○	○	3 : 7			
大 分 南	○	○	○	○	○	3 : 7			
大 分 豊 府	○	○	○	○	○	3 : 7			
大 分 工 業	○	○	○	○	○	3 : 7			
大 分 商 業	○	○	○	○	○	3 : 7			
芸 術 緑 丘	○	○			○	4 : 6			○
大 分 西	○	○	○	○	○	3 : 7			
大 分 鶴 崎	○	○	○	○	○	3 : 7			
鶴 崎 工 業	○	○	○	○	○	3 : 7			
情 報 科 学	○	○	○	○	○	3 : 7			
大 分 東	○	○	○	○	○	3 : 7		○	
由 布	○	○	○	○	○	3 : 7		○	
臼 杵	○	○	○	○	○	3 : 7			
海 洋 科 学	○	○	○	○	○	3 : 7		○	
津 久 見	○	○	○	○	○	3 : 7		○	
佐 伯 鶴 城	○	○	○	○	○	3 : 7			
佐 伯 豊 南	○	○	○	○	○	3 : 7			
三 重 総 合	○	○	○	○	○	3 : 7			
竹 田	○	○	○	○	○	3 : 7			
久 住 高 原 農 業	○	○	○	○	○	5 : 5		○	
玖 珠 美 山	○	○	○	○	○	3 : 7			
日 田	○	○	○	○	○	3 : 7			
日 田 三 限	○	○	○	○	○	3 : 7			
日 田 林 工	○	○	○	○	○	3 : 7			

(注) ○:実施する。 空欄:実施しない。

[定 時 制]

高 等 学 校	学力検査実施教科					調査書の合計点と 学力検査成績の比率	傾斜 配点	面接	適性 検査
	国語	社会	数学	理科	英語	(調査書) : (学力検査)			
中 津 東	○	○	○	○	○	5 : 5		○	
大 分 工 業	○	○	○	○	○	5 : 5		○	
爽 風 館	○	○	○	○	○	3 : 7		○	
日 田	○	○	○			5 : 5		○	

(注) ○:実施する。 空欄:実施しない。

【表 4】

一次入試に係る適性検査の内容

学校名	適性検査の日程・内容															
芸 術 緑 丘	【音楽科】 1. 日 程 3月11日（火）学力検査（国英社の3教科） 3月12日（水）適性検査 2. 適性検査の内容 ＜専攻＞ ○声楽 ○ピアノ ○弦楽器（バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス） ○木管楽器（フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サキソフォーン） ○金管楽器（ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ） ○打楽器 ○作曲 ○音楽総合 ＜専攻別実技課題＞（楽譜を見て演奏してよい） （ア） 声楽専攻 ① コンコーネ 50 番より No. 3（ハ長調）を母音で歌う。 ② 次の4曲より任意の1曲を選び、歌う。															
	<table><tr><th>曲 名</th><th>調</th><th>作 曲 者</th></tr><tr><td>浜辺の歌（2 番まで）</td><td>へ 長 調</td><td>成 田 為 三</td></tr><tr><td>早 春 賦（2 番まで）</td><td>変ホ長調</td><td>中 田 章</td></tr><tr><td>N i n a [ニーナ]</td><td>ホ 短 調</td><td>ペルゴレージ</td></tr><tr><td>Sebben crudele [たとえつれなくとも]</td><td>ニ 短 調</td><td>カルダーラ</td></tr></table>	曲 名	調	作 曲 者	浜辺の歌（2 番まで）	へ 長 調	成 田 為 三	早 春 賦（2 番まで）	変ホ長調	中 田 章	N i n a [ニーナ]	ホ 短 調	ペルゴレージ	Sebben crudele [たとえつれなくとも]	ニ 短 調	カルダーラ
	曲 名	調	作 曲 者													
	浜辺の歌（2 番まで）	へ 長 調	成 田 為 三													
	早 春 賦（2 番まで）	変ホ長調	中 田 章													
	N i n a [ニーナ]	ホ 短 調	ペルゴレージ													
	Sebben crudele [たとえつれなくとも]	ニ 短 調	カルダーラ													
	(注)指定以外の調で歌う場合は、出願の際に移調楽譜を、氏名を明記のうえ提出する。															
	（イ） ピアノ専攻 ① 次表の中から任意の1曲を選び、繰り返しなしで演奏する。															
	<table><tr><td>ツェルニー30 番練習曲、 ツェルニー40 番練習曲</td></tr></table>	ツェルニー30 番練習曲、 ツェルニー40 番練習曲														
ツェルニー30 番練習曲、 ツェルニー40 番練習曲																
② 任意のソナタより、1 楽章（緩徐楽章は除く）または同程度の任意の1 曲を、繰り返しなしで演奏する。																
（ウ） 弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器専攻 任意の1 曲を演奏する。																
（エ） 作曲専攻 ① ピアノ実技 J.S バッハ：2 声のインヴェンション、または3 声シンフォニアより任意の1 曲を選び、演奏する。																
② 作曲課題 与えられた2 小節の動機を用いて、16 小節の単旋律を作曲する。制限時間 50 分。																
（オ） 音楽総合専攻 ① 音楽理論に関する問題 『中学生の音楽1』（教育芸術社）所収の「音楽の約束」又は、『音楽のおくりもの1』（教育出版）所収の「楽典」																
② プレゼンテーション問題（a・b のどちらかを選択する。） a 「音楽の楽しさを地域の子どもに伝えるコンサートを企画し、プレゼンテーションを行ってください。」（実技を含まない） b 「将来、音楽を通してどのように社会に貢献するか考え、プレゼンテーションを行ってください。」（実技を含む） ※実技とは、部活動や授業で扱った曲の演奏をはじめ、ミュージカル、バレエ、ギター、リコーダー、民謡、ドラムなど、様々な形態の演奏・演技を指す。																

学校名	適性検査の日程・内容
芸 術 緑 丘	3. 携行品 受験票、昼食（3月11日のみ）、上履き、時計、筆記用具。 弦・管・打楽器専攻志願者は、それぞれの楽器。 【美術科】 1. 日 程 3月11日（火）学力検査（国英社の3教科） 3月12日（水）適性検査Ⅰ 適性検査Ⅱ 2. 適性検査の内容 ・適性検査Ⅰ 水彩画（180分） 与えられたモデルを描く。※用紙（四つ切り画用紙）は同校で準備する。 ・適性検査Ⅱ 鉛筆素描（60分） 与えられたモデルを描く。※用紙（八つ切り画用紙）は同校で準備する。 3. 携行品 受験票、昼食（両日）、上履き、時計、筆記用具。 水彩用具一式（水彩絵具・パレット・絵筆・筆洗など）、 鉛筆素描用具一式（鉛筆・消しゴム・カッター・クリップなど）。 ※ 画板は同校で用意する。 ※ 透視枠（デッサンスケール等）は使用不可。

・詳細については、芸術緑丘高等学校へ問い合わせること。

第 11 第二次入学者選抜

[選抜の資料等]

選抜の資料	調 査 書	○	
	学 力 検 査	△	左記の中から 1 つ以上実施
	小 論 文	△	
	適 性 検 査	△	
	面 接	△	
出 願 期 間		3 月 17 日（月）～ 3 月 18 日（火）	
検 査 日 程	学 力 検 査	3 月 19 日（水）	
	小 論 文		
	適 性 検 査		
	面 接		
合 格 者 発 表		3 月 21 日（金）	

(注) ○ 資料とする。 △ 必要に応じて実施する。

1 実施校及び募集人員

実施校及び募集人員については、令和7年3月14日（金）に県教育委員会において発表するものとする。

2 出 願

- (1) 推薦入試、連携型入試、帰国・外国人生徒特別入試又は一次入試に合格した者は、二次入試に出願することはできない。
- (2) 出願は1校（併設定時制及び分校は1校とみなす）・1部・1学科に限るものとする。ただし、通信制課程との併願は認める。
- (3) くくり募集をする学科は、一つの学科とみなして志願すること。
- (4) 二つ以上の学科で二次入試を実施する高等学校においては、選抜の資料を満たす範囲で第2志望を認める。ただし、爽風館高等学校定時制課程においては、学科間及びⅠ部、Ⅱ部、Ⅲ部の間で第3志望まで認める。

3 願書等提出期間

令和7年3月17日（月） ～ 令和7年3月18日（火）

- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に必着のこと。

4 出 願 手 続

(1) 志願者の行う手続

志願者は次の表に示す関係書類を在籍又は出身中学校長を経て、提出期間内に志願先の高等学校長に提出しなければならない。

第二次入学者選抜入学願書 (様式8号)	志願者全員
入学考査料	志願者全員
志望調査票（当該校指定のもの）	芸術緑丘高等学校音楽科志願者
大分県立高等学校入学志願許可書 (様式11号の5)	県外から本県の全日制課程及び爽風館高等学校定時制課程 (Ⅲ部のみを志願する者を除く)を志願する者(p52～53 参照)
志願承諾書	高等専門学校、高等学校に在籍のまま志願する者

- ・ 志望調査票は、芸術緑丘高等学校で直接受け取るか同校ホームページからダウンロードすること。
- ・ 志願承諾書は、任意様式で、在籍する高等専門学校、高等学校が作成したもの。

(2) 中学校長の行う手続

- ① 中学校長は、(1)の志願者の提出書類を提出期間（3月17日～3月18日）内に公文書（様式16号）をもって、志願先の高等学校長に提出するものとする。
- ② 中学校長は、必要に応じて次の表に示す書類を作成し、提出期間内に公文書（様式13号及び様式16号）をもって、それぞれの提出先に提出するものとする。

提出先	提出書類	提出期間	備考
高等学校長	調査書 (様式9号) 教科学習成績一覧表 (様式10号)	3月17日(月) 午前9時 ～ 3月18日(火) 午後4時	教科学習成績一覧表は、 過年度卒業者及び県外 中学校からの志願者に ついては提出不要（県外 隣接中学校から許容する 高等学校に出願する場合 を除く）である。
高校教育課長	教科学習成績一覧表 (様式10号)		

- ・ 中学校長は、やむを得ない事情で調査書等を提出できないときは、県教育委員会の指示を受けるものとする。
- ・ 受付は午前9時から午後4時までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。
- ・ 教科学習成績一覧表の高等学校長あての提出について、推薦入試（爽風館特別入試を含む）、連携型入試及び帰国・外国人生徒特別入試及び一次入試で出願した高等学校への再度の提出は不要である。

また、教科学習成績一覧表の高校教育課長あての提出については、推薦入試（爽風館特別入試を含む）、連携型入試、帰国・外国人生徒特別入試及び一次入試で提出した学校は不要である。

(3) 高等学校長の行う手続

- ① 高等学校長は、提出された出願関係書類が適正であると認めたときは、**受験票と入学考査料領収書**を志願者に交付する。
- ② 高等学校長は、必要があるときは、出願書類の内容について、中学校長に説明を求めることができる。

5 入学者の選抜

(1) 選抜の資料

調査書については、必須とする。その他の選抜の資料は、学力検査、小論文、適性検査及び面接の中から学校ごとに定める。

p37～38【表5】【表6】参照

ただし、学力検査、小論文、適性検査及び面接の内容については、学校独自に作成する。

(2) 検査日・日程等

① 検査日及び検査内容

令和7年3月19日（水）・・・・・・・・・・	学力検査 小論文 適性検査 面接	1つ以上を実施
------------------------	---------------------------	---------

② 検査日程等

検査時間、集合時刻等の細部については、各高等学校長が定める。

(3) 検査場

検査場は、出願先高等学校（分校を含む）とする。

6 選抜の方法

各高等学校長は、選抜の資料に基づいて総合的に判断し、合格者を決定するものとする。

7 合格者の発表

合格者の発表は、令和7年3月21日（金）午前9時頃（予定）に令和7年度大分県立高等学校入学者選抜合格者発表専用 Web サイトに掲載する。

【表5】

二次入試に係る学校ごとに定める事項

〔全 日 制 〕

高 等 学 校	調査書	学力検査					小論文	面 接	適性検査
		国語	社会	数学	理科	英語			
中 津 南	○						○	○	
中津南耶馬溪校	○						○	○	
中 津 北	○						○	○	
中 津 東	○						○	○	
宇 佐 産 業 科 学	○						○	○	
宇 佐 産 業 科 学	○						○	○	
安 心 院	○							○	
高 田	○						○	○	
国 東	○						○	○	
杵 築	○						○	○	
日 出 総 合	○						○	○	
別 府 鶴 見 丘	○						○	○	
別 府 翔 青	○						○		
大 分 上 野 丘	○							○	
大 分 舞 鶴	○							○	
大 分 雄 城 台	○						○	○	
大 分 南	○						○	○	
大 分 豊 府	○							○	
大 分 工 業	○						○	○	
大 分 商 業	○						○	○	
芸 術 緑 丘	○						○	○	○
大 分 西	○						○	○	
大 分 鶴 崎	○						○	○	
鶴 崎 工 業	○						○	○	
情 報 科 学	○						○	○	
大 分 東	○						○	○	
由 布	○						○	○	
臼 杵	○						○	○	
海 洋 科 学	○						○	○	
津 久 見	○						○	○	
佐 伯 鶴 城	○						○	○	
佐 伯 豊 南	○						○	○	
三 重 総 合	○						○	○	
竹 田	○						○	○	
久 住 高 原 農 業	○						○	○	
玖 珠 美 山	○						○	○	
日 田	○						○	○	
日 田 三 限	○						○	○	
日 田 林 工	○						○	○	

(注) ○:資料とする又は実施する。 空欄:実施しない。

〔定 時 制 〕

高 等 学 校	調査書	学力検査					小論文	面 接	適性検査
		国語	社会	数学	理科	英語			
中 津 東	○						○	○	
大 分 工 業	○						○	○	
爽 風 館	○						○	○	
日 田	○						○	○	

(注) ○:資料とする又は実施する。 空欄:実施しない。

【表 6】

二次入試に係る適性検査の内容

学校名	適性検査の日程・内容								
芸 術 緑 丘	【音 楽 科】								
	1. 日 程								
	3月19日（水）小論文、適性検査、面接								
	2. 適性検査の内容								
	＜専攻＞								
	○声楽 ○ピアノ ○弦楽器（バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス）								
	○木管楽器（フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サキソフォーン）								
	○金管楽器（ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ）								
	○打楽器 ○作曲 ○音楽総合								
	＜専攻別実技課題＞（楽譜を見て演奏してよい）								
(ア) 声楽専攻									
次の2曲より任意の1曲を選び、歌う。									
<table><tr><th>曲 名</th><th>調</th><th>作 曲 者</th></tr><tr><td>浜 辺 の 歌（2 番まで）</td><td>へ長調</td><td>成 田 為 三</td></tr><tr><td>早 春 賦（2 番まで）</td><td>変ホ長調</td><td>中 田 章</td></tr></table>	曲 名	調	作 曲 者	浜 辺 の 歌（2 番まで）	へ長調	成 田 為 三	早 春 賦（2 番まで）	変ホ長調	中 田 章
曲 名	調	作 曲 者							
浜 辺 の 歌（2 番まで）	へ長調	成 田 為 三							
早 春 賦（2 番まで）	変ホ長調	中 田 章							
(注) 指定以外の調で歌う場合は、出願の際に移調楽譜を、氏名を明記のうえ提出する。									
(イ) ピアノ専攻 任意の1曲を演奏する。									
(ウ) 弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器専攻 任意の1曲を演奏する。									
(エ) 作曲専攻									
与えられた2小節の動機を用いて、16小節の単旋律を作曲する。制限時間50分。									
(オ) 音楽総合専攻									
プレゼンテーション問題									
a 「音楽の楽しさを地域の子どもに伝えるコンサートを企画し、プレゼンテーションを行ってください。」（実技を含まない）									
b 「将来、音楽を通してどのように社会に貢献するか考え、プレゼンテーションを行ってください。」（実技を含む）									
※実技とは、部活動や授業で扱った曲の演奏をはじめ、ミュージカル、バレエ、ギター、リコーダー、民謡、ドラムなど、様々な形態の演奏・演技を指す。									
3. 携行品									
受験票、上履き、時計、筆記用具。									
弦・管・打楽器専攻志願者は、それぞれの楽器。									
【美術科】									
1. 日 程									
3月19日（水）小論文、適性検査、面接									
2. 適性検査の内容									
鉛筆素描（60分）									
※用紙（八つ切り画用紙）は同校で準備する。									
※透視枠（デッサンスケール等）は使用不可。									
3. 携行品									
受験票、上履き、時計、筆記用具。									
鉛筆素描用具一式（鉛筆・消しゴム・カッター・クリップなど）。									
※ 画板は同校で用意する。									
※ 透視枠（デッサンスケール等）は使用不可。									

・詳細については、芸術緑丘高等学校へ問い合わせること。

第 12 大分県立爽風館高等学校入学者選抜

定時制課程（3 部制）

1 入学定員及び募集人員

入学定員及び各選抜における募集人員については県教育委員会が別に定める。

2 選 抜 方 法

入学者の選抜は、次の(1)、(2)により行うものとする。

(1) 春季入学者選抜

- ① 推薦入試〔爽風館特別入試〕（以下「爽風館特別入試」という。）
- ② 一次入試
- ③ 二次入試

(2) 秋季入学者選抜

- ① 推薦入試〔爽風館特別入試〕

3 入学考査料納付の方法

(1) 春季入学者選抜

- ① 爽風館特別入試に出願する場合は、爽風館高等学校で納付する。
- ② 一次入試で爽風館高等学校に出願する場合
ア 爽風館特別入試、推薦入試、連携型入試又は帰国・外国人生徒特別入試に出願した者は、入学考査料領収証明書を添付する。
イ 上記アに該当しない場合は、入学考査料を爽風館高等学校で納付する。
- ③ 二次入試で爽風館高等学校に出願する場合は、新たに入学考査料を爽風館高等学校で納付する。

(2) 秋季入学者選抜

爽風館特別入試に出願する場合は、爽風館高等学校で納付する。

4 春季入学者選抜

(1) 爽風館特別入試

① 実施学科

- I 部（午前部） 普通科
- II 部（午後部） 普通科
- III 部（夜間部） 普通科、商業科

② 出願

- ア 爽風館特別入試に出願できる者は、爽風館特別入試出願要件（p42）を満たす者とする。
- イ 他校の推薦入試、連携型入試及び帰国・外国人生徒特別入試との併願はできない。
- ウ 学科間及び I 部、II 部、III 部の間で第 2 及び第 3 志望を認める。

③ 願書等提出期間

令和 7 年 1 月 21 日（火） ～ 令和 7 年 1 月 24 日（金）

- ・ 受付は午前 9 時から午後 4 時までとする。ただし、提出最終日は午前 9 時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

④ 出願手続

ア 志願者の行う手続

志願者は次の表に示す関係書類を在籍又は出身中学校長を経て、提出期間内に爽風館高等学校長に提出しなければならない。

推薦入学者選抜入学願書（様式 1 号）	志願者全員
入 学 考 査 料	志願者全員
志 願 理 由 書（様式 3 号）	志願者全員（志願者本人が作成すること）
大分県立高等学校入学志願許可書 （様式 11 号の 3）	県外から志願する者（Ⅲ部のみを志願する者を除く） （p52～53 参照）
志 願 承 諾 書	高等専門学校、高等学校に在籍のまま志願する者

- ・ 志願承諾書は、任意様式で、在籍する高等専門学校、高等学校が作成したもの。

イ 中学校長の行う手続

中学校長は、アの志願者の提出書類を提出期間（1 月 21 日～1 月 24 日）内に公文書（様式 4 号）をもって、爽風館高等学校長に提出するものとする。

また、中学校長は、次の表に示す書類を作成し、提出期間内に公文書（様式 4 号及び様式 13 号）をもって、それぞれの提出先に提出するものとする。

提 出 先	提出書類	提出期間	備 考
爽風館高等学校長	調 査 書 （様式 9 号） 教科学習成績一覧表 （様式 10 号）	1 月 21 日（火） 午前 9 時 ～ 1 月 24 日（金） 正 午	教科学習成績一覧表は過 年度卒業生及び県外中学 校からの志願者について は提出不要である。
高 校 教 育 課 長	教科学習成績一覧表 （様式 10 号）		

- ・ 中学校長は、やむを得ない事情で調査書等を提出できないときは、県教育委員会の指示を受けるものとする。
- ・ 受付は午前 9 時から午後 4 時までとする。ただし、提出最終日は午前 9 時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

ウ 爽風館高等学校長の行う手続

「第 7 推薦入学者選抜」に準ずる。

⑤ 入学者の選抜

ア 検査日及び検査内容

令和 7 年 2 月 4 日（火） ～ 令和 7 年 2 月 5 日（水）・・・面接、小論文

イ 検査場

検査場は爽風館高等学校とする。

⑥ 選抜の方法

爽風館高等学校長は、調査書、志願理由書、面接及び小論文の結果を資料として行う選抜に基づいて合格内定者を決定する。

⑦ 選抜結果の通知及び合格者の発表

ア 爽風館高等学校長は、選抜結果について、令和 7 年 2 月 6 日（木）までに中学校長あて、推薦入

学者選抜合格内定通知書（様式 6 号の 1）を公文書（様式 5 号）をもって簡易書留郵便にて**発送**する。その際、合格内定者とならなかった者については「**入学考査料領収証明書**」を同封する。
また、合格内定者の発表を**令和 7 年 2 月 6 日（木）**に中学校長に対して令和 7 年度大分県立高等学校入学者選抜合格内定者発表専用 Web サイトにて行う。

イ 合格者の発表は、一次入試の合格者発表と同時に令和 7 年度大分県立高等学校入学者選抜合格者発表専用 Web サイトに合格者の受験番号を掲載する。

⑧ 一次入試、二次入試への出願

爽風館特別入試に出願し合格が内定した者は、一次入試及び二次入試に出願することはできない。

(2) 一次入試

「第 10 第一次入学者選抜」に準じて行う。

ただし、学科間及びⅠ部、Ⅱ部、Ⅲ部の間で第 2 及び第 3 志望を認める。

(3) 二次入試

「第 11 第二次入学者選抜」に準じて行う。

ただし、学科間及びⅠ部、Ⅱ部、Ⅲ部の間で第 2 及び第 3 志望を認める。

5 秋季入学者選抜

(1) 爽風館特別入試

① 実施学科

春季入学者選抜に同じ

② 出願

ア 爽風館特別入試に出願できる者は、爽風館特別入試出願要件（p42）を満たす者とする。

イ 学科間及びⅠ部、Ⅱ部、Ⅲ部の間で第 2 及び第 3 志望を認める。

③ 願書等提出期間

令和 7 年 7 月 28 日（月） ～ 令和 7 年 7 月 31 日（木）

- ・ 受付は午前 9 時から午後 4 時までとする。ただし、提出最終日は午前 9 時から正午までとする。
- ・ 郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

④ 出願手続

志願者は、次の表に示す関係書類を、出身中学校長を経て、提出期間内に爽風館高等学校長に提出しなければならない。

推薦入学者選抜入学願書（様式 1 号）	志願者全員
入 学 考 査 料	志願者全員
志 願 理 由 書（様式 3 号）	志願者全員（志願者本人が作成すること）
調 査 書（様式 9 号）	志願者全員（作成基準日は卒業時点）
受験票発送用封筒（長形 3 号）	志願者全員（110 円切手を貼付し、志願者の住所・氏名を明記すること）
大分県立高等学校入学志願許可書（様式 11 号の 3）	県外から志願する者（Ⅲ部のみを志願する者を除く）
志 願 承 諾 書	高等専門学校、高等学校に在籍のまま志願する者

- ・ 中学校長は、やむを得ない事情で調査書を作成できないときは、県教育委員会の指示を受けるものとする。
- ・ 志願承諾書は、任意様式で、在籍する高等専門学校、高等学校が作成したもの。
- ・ 爽風館高等学校長の行う手続は、「第 7 推薦入学者選抜」に準ずる。

⑤ 入学者の選抜

ア 検査日及び検査内容

令和 7 年 8 月 26 日（火）・・・ 面接、小論文

イ 検査場

検査場は爽風館高等学校とする。

⑥ 選抜の方法

爽風館高等学校長は、調査書、志願理由書、面接及び小論文の結果を資料として行う選抜に基づいて合格者を決定する。

⑦ 選抜結果の発表

爽風館高等学校長は、選抜結果について、**令和7年8月27日（水）**に爽風館高等学校（定時制）ホームページに合格者の受験番号を掲載する。

⑧ 追検査

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等に罹患しており、検査日当日高熱などによって受験できなかった者、又は月経随伴症状等に伴う体調不良等で受験できなかった者に対して**令和7年9月3日（水）**に追検査を実施する。追検査受験の申請手続きや検査内容など詳細については爽風館高等学校に問い合わせること。

6 そ の 他

(1) 県外からの志願

I部及びII部（第2又は第3志望とする場合を含む。）については、全日制課程と同様の扱いとする。（p52～53 参照）

ただし、秋季入学者選抜における申請期間は、**令和7年7月9日（水）～7月17日（木）**とする。

なお、入学の際は、**入学式の4日前まで**（土曜日又は日曜日の場合はその前日又は前々日の金曜日まで）に志願者及び保護者が大分県内に住所を有していることが証明できる住民票を爽風館高等学校長に提出すること。

III部のみを志願する場合は、特に手続は必要ない。

(2) 受験上の配慮について

「第5 受験上の配慮」に準ずる。

秋季入学者選抜においては、志願者の出身中学校長が、様式17号又は様式18号を**令和7年7月17日（木）**までに県教育委員会に提出する。県教育委員会は、**令和7年7月24日（木）**までに志願者及び当該中学校長等と爽風館高等学校関係者ととともに協議する。

(3) 帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特例措置について

「第6 帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特例措置」に準ずる。

秋季入学者選抜においては、志願者の出身中学校長が、様式19号を**令和7年7月17日（木）**までに県教育委員会に提出する。県教育委員会は、**令和7年7月24日（木）**までに志願者及び当該中学校長等と爽風館高等学校関係者ととともに協議する。

7 爽風館特別入試出願要件

本校の「教育目標」を理解し、「求める生徒像」のいずれかに当てはまる者で、定時制課程を志望する動機及び理由が明白であり、本校への入学を強く希望する者

(1) 教育目標

生徒一人ひとりの個性や能力を伸長し、調和のとれた豊かな人間性を育み、社会に有為な人材を育成する。

(2) 求める生徒像

- ① 夢や希望の実現に向けて、自己の可能性にチャレンジする生徒
- ② 自ら課題を見つけ、考え、主体的に行動する意欲のある生徒
- ③ 自分らしさを求め、自分の特性や能力を伸ばしたい生徒

通信制課程

1 入学定員及び募集人員

	入学定員	春季募集人員	秋季募集人員
普通科	400人	400人	春季募集の後に入学定員に満たない数

2 選 抜 方 法

入学者の選抜は、次の(1)、(2)により行うものとする。

- (1) 春季入学者選抜
- (2) 秋季入学者選抜

3 春季入学者選抜

- (1) 願書等提出期間

令和7年3月13日（木） ～ 令和7年3月18日（火）

- ・受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に**必着**のこと。

- (2) 出願手続

志願者は、次の表に示す関係書類を、在籍又は出身中学校長を経て、提出期間内に爽風館高等学校長に提出しなければならない。

春季入学者選抜入学願書・受験票	志願者全員（写真2枚を指定された場所に貼付すること）
志 願 理 由 書	志願者全員
調 査 書（様式9号）	志願者全員（作成基準日は卒業時点） 中学校卒業後5年以上経過している者は、調査書に代えて 中学校の卒業証明書を提出すること。
選抜結果通知用封筒（長形3号）	志願者全員（110円切手を貼付し、志願者の住所・氏名を 明記すること）
受験票発送用封筒（長形3号）	志願者全員（110円切手を貼付し、志願者の住所・氏名を 明記すること）
志 願 承 諾 書	高等専門学校、高等学校に在籍のまま志願する者

- ・調査書を除く書類の様式は、爽風館高等学校長が別に定める。

- (3) 入学者の選抜

- ① 検査日及び検査内容

令和7年3月21日（金）・・・・・・・・・・ 面接、作文

- ② 検査場

検査場は爽風館高等学校とする。

- (4) 選抜の方法

爽風館高等学校長は、提出書類、面接及び作文の結果を資料として行う選抜に基づいて合格者を決定する。

- (5) 選抜結果の発表及び通知

令和7年3月24日（月）に爽風館高等学校（通信制）ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、同日までに志願者あて、選抜結果を発送する。

(6) 追検査

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等に罹患しており、検査日当日高熱などによって受験できなかった者、又は月経随伴症状等に伴う体調不良等で受験できなかった者に対して令和7年3月27日（木）に追検査を実施する。追検査受験の申請手続きや検査内容など詳細については爽風館高等学校に問い合わせること。

4 秋季入学者選抜

(1) 願書等提出期間

令和7年8月18日（月） ～ 令和7年8月20日（水）

- ・受付は午前9時から午後4時までとする。ただし、提出最終日は午前9時から正午までとする。
- ・郵送の場合は「書留」とし、提出期間内に必着のこと。

(2) 出願手続

志願者は、次の表に示す関係書類を、出身中学校長を経て、提出期間内に爽風館高等学校長に提出しなければならない。

秋季入学者選抜入学願書・受験票	志願者全員（写真2枚を指定された場所に貼付すること）
志 願 理 由 書	志願者全員
調 査 書（様式9号）	志願者全員（作成基準日は卒業時点） 中学校卒業後5年以上経過している者は、調査書に代えて 中学校の卒業証明書を提出すること。
選抜結果通知用封筒（長形3号）	志願者全員（110円切手を貼付し、志願者の住所・氏名を 明記すること）
受験票発送用封筒（長形3号）	志願者全員（110円切手を貼付し、志願者の住所・氏名を 明記すること）
志 願 承 諾 書	高等専門学校、高等学校に在籍のまま志願する者

- ・調査書を除く書類の様式は、爽風館高等学校長が別に定める。

(3) 入学者の選抜

① 検査日及び検査内容

令和7年8月28日（木）・・・・・・・・・・ 面接、作文

② 検査場

検査場は爽風館高等学校とする。

(4) 選抜の方法

爽風館高等学校長は、提出書類、面接及び作文の結果を資料として行う選抜に基づいて合格者を決定する。

(5) 選抜結果の発表及び通知

令和7年8月29日（金）に爽風館高等学校（通信制）ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、同日までに志願者あて、選抜結果を発送する。

(6) 追検査

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等に罹患しており、検査日当日高熱などによって受験できなかった者、又は月経随伴症状等に伴う体調不良等で受験できなかった者に対して令和7年9月3日（水）に追検査を実施する。追検査受験の申請手続きや検査内容など詳細については爽風館高等学校に問い合わせること。

5 願書等の入手方法

爽風館高等学校及び県内各教育事務所で配付する。詳細については、爽風館高等学校に問い合わせること。

6 そ の 他

(1) 県外からの志願

県外から転居等の特別な理由により爽風館高等学校を志願する者は、入学日までに大分県内に住所を有することが確実であることを証明する書類等を提出して爽風館高等学校長の許可を受ける必要があるため、手続等を事前に爽風館高等学校に問い合わせること。

なお、県外隣接中学校（p53 参照）を令和7年3月に卒業見込みの者又は卒業した者が志願するときは、この手続は不要である。

(2) 受験上の配慮について

次のいずれかに該当し、受験する際に配慮が必要な場合は、下記の期日までに爽風館高等学校に連絡すること。

① 対 象

ア 身体に障がいがあるため、受験する際に配慮が必要である者

イ その他の事情で、受験する際に配慮が必要である者

② 連絡期日

ア 春季入学者選抜 令和7年1月31日（金）まで

イ 秋季入学者選抜 令和7年7月17日（木）まで

(3) 帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特例措置について

帰国・外国人生徒で受験する際に特例措置が必要な場合は、下記の期日までに爽風館高等学校に連絡すること。

① 対 象

「第6 帰国・外国人生徒に係る入学者選抜の特例措置」に準ずる。

② 連絡期日

ア 春季入学者選抜 令和7年1月31日（金）まで

イ 秋季入学者選抜 令和7年7月17日（木）まで

(4) その他

詳細については、爽風館高等学校に問い合わせること。

第 13 感染症等で受験できない生徒に対する特例措置

試験当日、インフルエンザ等に罹患している場合でも別室検査室などで受験することができる。ただし、学校保健安全法施行規則第 18 条「学校において予防すべき感染症」に指定されている疾病等に罹患しており、高熱などによって受験することができずに欠席した者、又は月経随伴症状等に伴う体調不良等で受験することができずに欠席した者は、特例選抜受験の申請をすることができる。

なお、対象となる選抜を一部でも受験した者は、原則として特例選抜の対象外とする。

特例選抜 A

1 対象となる選抜

- ・芸術緑丘高等学校音楽科・美術科の推薦入試 A
- ・別府翔青高等学校グローバルコミュニケーション科の帰国・外国人生徒特別入試

2 申請手続

(1) 中学校長の行う手続き

- ① 事前に出願先高等学校へ電話連絡の上、「特例選抜受験願」（様式 21 号）を作成し、出願先高等学校長へ令和 7 年 2 月 5 日（水）午後 3 時までに提出する。
- ② やむを得ない事情で関係書類を期限までに提出できないときは、県教育委員会の指示を受けるものとする。

(2) 高等学校長の行う手続き

- ① 提出された書類が適正であると認めたときは、「特例選抜受験許可書」（様式 22 号）を作成し、「入学考査料領収証明書」とともに中学校長に交付する。
- ② 必要があるときは提出書類の内容について中学校長に説明を求めることができる。

3 入学者の選抜

(1) 検査日及び検査内容

令和 7 年 2 月 12 日（水）	}	・・・	各高等学校が推薦入試等で 実施する検査内容と同様
令和 7 年 2 月 13 日（木）			

- ・検査時間、集合時刻等の細部については、各高等学校長が定める。

(2) 検査場

検査場は、出願先高等学校とする。

(3) 選抜の方法

「第 7 推薦入学者選抜」「第 9 帰国・外国人生徒特別入学者選抜」に準ずる。なお、先に通知した合格内定者と合わせ、募集人員を超えて合格内定者を決定することができる。

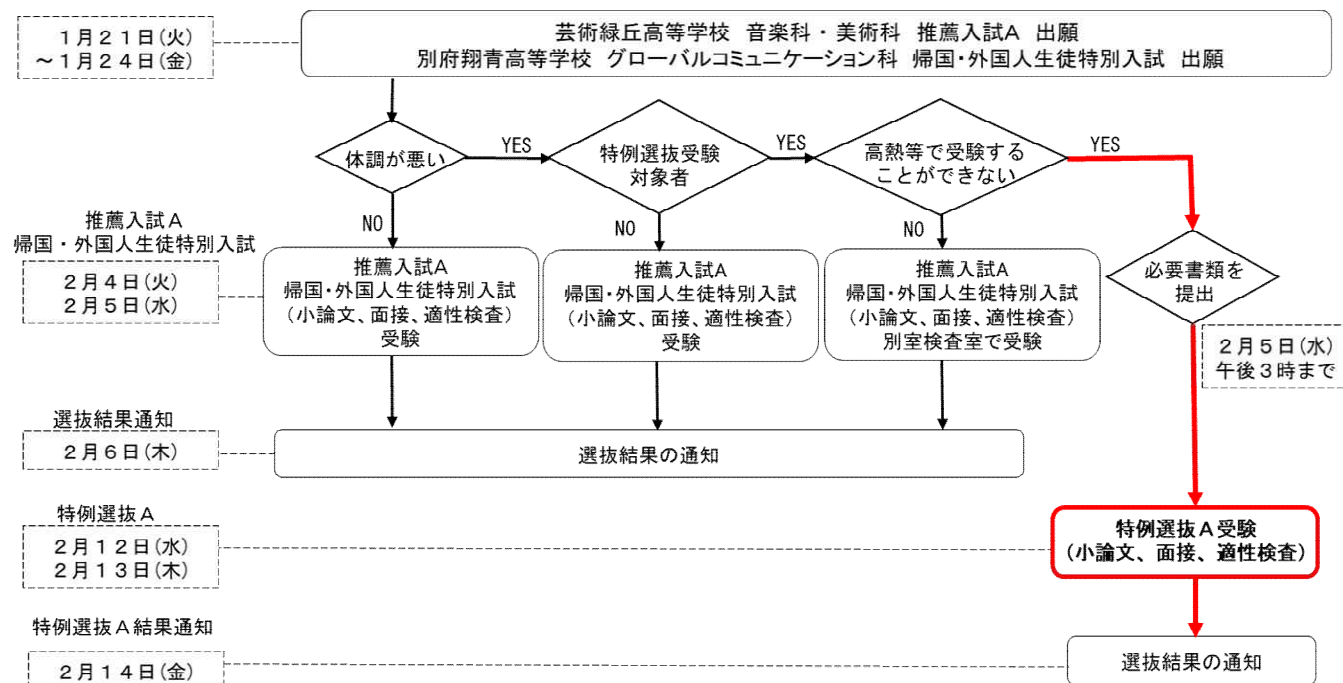
4 選抜結果の通知及び合格者の発表

- (1) 各高等学校長は、選抜結果について、令和 7 年 2 月 14 日（金）までに中学校長あて、特例選抜 A 合格内定通知書（様式 6 号の 4）を公文書（様式 5 号）をもって簡易書留郵便にて発送するとともに中学校長へ直接連絡する。
- (2) 合格者の発表は一次入試の合格者発表と同時に令和 7 年度大分県立高等学校入学者選抜合格者発表専用 Web サイトに合格者の受験番号を掲載する。

5 そ の 他

特例選抜Aの受験を許可された者は一次入試に出願できるが、特例選抜Aで合格内定となった場合は、中学校長を介して速やかに一次入試の出願を取り下げる連絡をすること。

6 フ ロ ー 図



特例選抜 B

1 対象となる選抜

全ての高等学校・学科の一次入試

2 申請手続

(1) 中学校長の行う手続き

- ① 事前に出願先高等学校へ電話連絡の上、「特例選抜受験願」（様式 21 号）を作成し、出願先高等学校長へ令和 7 年 3 月 12 日（水）午後 3 時までに提出する。
- ② やむを得ない事情で関係書類を期限までに提出できないときは、県教育委員会の指示を受けるものとする。

(2) 高等学校長の行う手続き

- ① 提出された書類が適正であると認めたときは、「特例選抜受験許可書」（様式 22 号）を作成し、中学校長に交付する。
- ② 必要があるときは提出書類の内容について中学校長に説明を求めることができる。

3 入学者の選抜

(1) 選抜の資料

調査書については必須とする。その他の選抜の資料は学校ごとに定めるものとし、学力検査又は小論文を必須として、適性検査及び面接は必要に応じて資料とすることができる。

p49～51【表 7】【表 8】参照

ただし、学力検査、小論文、適性検査及び面接の内容については、学校独自に作成する。

(2) 検査日及び検査内容

令和7年3月18日（火）・・・・・・・・・・	学力検査	}	1つ以上を実施
	小論文		
	適性検査	}	必要に応じて実施
	面接		
p49～51【表7】【表8】参照			

- ・ 検査時間、集合時刻等の細部については、各高等学校長が定める。

(3) 検査場

検査場は、出願先高等学校（分校を含む）とする。

(4) 選抜の方法

高等学校長は、選抜の資料に基づいて総合的に判断し、合格を決定するものとする。なお、先に発表した合格者と合わせ、募集人員を超えて合格者を決定することができる。

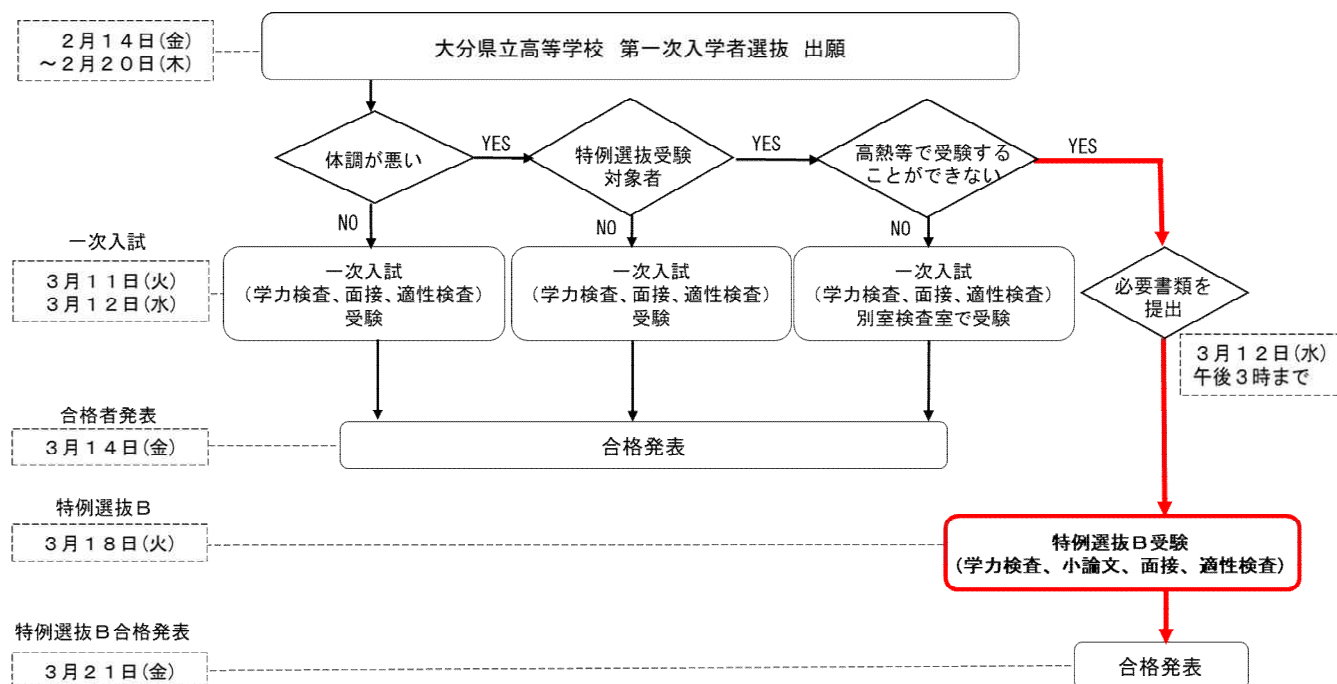
4 選抜結果の通知

各高等学校長は、選抜結果を令和7年3月21日(金)までに中学校長あて簡易書留郵便にて発送するとともに中学校長へ直接連絡する。

5 その他

特例選抜Bの受験を許可された者は二次入試に出願し受験することができる。ただし、特例選抜Bで合格した場合は、中学校長を介して速やかに二次入試に合格した高等学校に入学を取り下げる連絡をすること。

6 フロー図



【表7】

特例選抜Bに係る学校ごとに定める事項

〔全 日 制 〕

高 等 学 校	調査書	学力検査					小論文	面 接	適性検査
		国語	社会	数学	理科	英語			
中 津 南	○						○	○	
中津南耶馬溪校	○						○	○	
中 津 北	○						○	○	
中 津 東	○						○	○	
宇 佐 産 業 科 学	○						○	○	
宇 佐 産 業 科 学	○						○	○	
安 心 院	○						○		
高 田	○						○	○	
国 東	○						○	○	
杵 築	○						○	○	
日 出 総 合	○						○	○	
別 府 鶴 見 丘	○						○	○	
別 府 翔 青	○					○	○	○	
大 分 上 野 丘	○						○	○	
大 分 舞 鶴	○						○	○	
大 分 雄 城 台	○						○	○	
大 分 南	○						○	○	
大 分 豊 府	○						○		○
大 分 工 業	○						○	○	
大 分 商 業	○						○	○	
芸 術 緑 丘	○						○		○
大 分 西	○						○	○	
大 分 鶴 崎	○						○	○	
鶴 崎 工 業	○						○	○	
情 報 科 学	○	○		○		○		○	
大 分 東	○						○	○	
由 布	○						○	○	
臼 杵	○						○	○	
海 洋 科 学	○						○	○	
津 久 見	○						○	○	
佐 伯 鶴 城	○						○	○	
佐 伯 豊 南	○						○		
三 重 総 合	○						○	○	
竹 田	○						○	○	
久 住 高 原 農 業	○						○	○	
玖 珠 美 山	○						○	○	
日 田	○						○	○	
日 田 三 限	○						○	○	
日 田 林 工	○						○	○	

(注) ○:資料とする又は実施する。 空欄:実施しない。

〔定 時 制 〕

高 等 学 校	調査書	学力検査					小論文	面 接	適性検査
		国語	社会	数学	理科	英語			
中 津 東	○						○	○	
大 分 工 業	○						○	○	
爽 風 館	○						○	○	
日 田	○						○	○	

(注) ○:資料とする又は実施する。 空欄:実施しない。

【表 8】

特例選抜 B に係る適性検査の内容

学校名	適性検査の内容																
大 分 豊 府	・口頭試問（数学・英語） ①数学の基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力など、数学的な問題解決に必要な資質・能力を問う検査 ②英語を用いてコミュニケーションを図るために必要な知識及び技能と、思考力・表現力・判断力を問う検査																
芸 術 緑 丘	【音楽科】 1. 適性検査の内容 ＜専攻＞ ○声楽 ○ピアノ ○弦楽器（バイオリン・ビオラ・チェロ・コントラバス） ○木管楽器（フルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サキソフーン） ○金管楽器（ホルン・トランペット・トロンボーン・ユーフォニアム・テューバ） ○打楽器 ○作曲 ○音楽総合 ＜専攻別実技課題＞（楽譜を見て演奏してよい） （ア） 声楽専攻 ① コンコーネ 50 番より No. 3（ハ長調）を母音で歌う。 ② 次の4曲より任意の1曲を選び、歌う。 <table><tr><th>曲 名</th><th>調</th><th>作 曲 者</th></tr><tr><td>浜辺の歌（2 番まで）</td><td>へ 長 調</td><td>成 田 為 三</td></tr><tr><td>早 春 賦（2 番まで）</td><td>変ホ長調</td><td>中 田 章</td></tr><tr><td>N i n a [ニーナ]</td><td>ホ 短 調</td><td>ペルゴレージ</td></tr><tr><td>Sebben crudele [たとえつれなくとも]</td><td>ニ 短 調</td><td>カルダーラ</td></tr></table> （注）指定以外の調で歌う場合は、出願の際に移調楽譜を、氏名を明記のうえ提出する。 （イ） ピアノ専攻 ① 次表の中から任意の1曲を選び、繰り返しなしで演奏する。 <table><tr><td>ツェルニー30 番練習曲、 ツェルニー40 番練習曲</td></tr></table> ② 任意のソナタより、1 楽章（緩徐楽章は除く）または同程度の任意の1曲を、繰り返しなしで演奏する。 （ウ） 弦楽器・木管楽器・金管楽器・打楽器専攻 任意の1曲を演奏する。 （エ） 作曲専攻 ① ピアノ実技 J.S バッハ：2 声のインヴェンション、または3 声シンフォニアより任意の1曲を選び、演奏する。 ② 作曲課題 与えられた2 小節の動機を用いて、16 小節の単旋律を作曲する。 制限時間 50 分。 （オ） 音楽総合専攻 ① 音楽理論に関する問題 『中学生の音楽1』（教育芸術社）所収の「音楽の約束」又は、 『音楽のおくりもの1』（教育出版）所収の「楽典」 ② プレゼンテーション問題（a・b のどちらかを選択する。） a 「音楽の楽しさを地域の子どもに伝えるコンサートを企画し、プレゼンテーションを行ってください。」（実技を含まない） b 「将来、音楽を通してどのように社会に貢献するか考え、プレゼンテーションを行ってください。」（実技を含む） ※実技とは、部活動や授業で扱った曲の演奏をはじめ、ミュージカル、バレエ、ギター、リコーダー、民謡、ドラムなど、様々な形態の演奏・演技を指す。	曲 名	調	作 曲 者	浜辺の歌（2 番まで）	へ 長 調	成 田 為 三	早 春 賦（2 番まで）	変ホ長調	中 田 章	N i n a [ニーナ]	ホ 短 調	ペルゴレージ	Sebben crudele [たとえつれなくとも]	ニ 短 調	カルダーラ	ツェルニー30 番練習曲、 ツェルニー40 番練習曲
曲 名	調	作 曲 者															
浜辺の歌（2 番まで）	へ 長 調	成 田 為 三															
早 春 賦（2 番まで）	変ホ長調	中 田 章															
N i n a [ニーナ]	ホ 短 調	ペルゴレージ															
Sebben crudele [たとえつれなくとも]	ニ 短 調	カルダーラ															
ツェルニー30 番練習曲、 ツェルニー40 番練習曲																	

学校名	適性検査の内容
芸 術 緑 丘	2. 携行品 受験票、上履き、時計、筆記用具。 弦・管・打楽器専攻志願者は、それぞれの楽器。 【美術科】 1. 適性検査の内容 鉛筆素描（60 分） ※用紙（八つ切り画用紙）は同校で準備する。 ※透視枠（デッサンスケール等）は使用不可。 2. 携行品 受験票、上履き、時計、筆記用具。 鉛筆素描用具一式（鉛筆・消しゴム・カッター・クリップなど）。 ※ 画板は同校で用意する。 ※ 透視枠（デッサンスケール等）は使用不可。

・詳細については、各高等学校へ問い合わせること。

第 14 県外からの志願

1 申請を必要とするもの

県外の中学校を卒業する見込みの者又は卒業した者で、特別な理由により本県高等学校の全日制課程（県外隣接中学校から許容する高等学校への志願者及び安心院高等学校普通科・国東高等学校全学科・久住高原農業高等学校農業科・日田林工高等学校林業科の全国募集志願者を除く）及び爽風館高等学校定時制課程（Ⅲ部のみを志願する者を除く）を志願する者は、出願する前に在籍又は出身中学校長を経て、入学志願許可を受けなければならない。なお、入学志願許可の申請は、下記（ア）又は（イ）の場合で申請手続きが異なるので注意すること。

（ア）大分県に一家転住する場合

（イ）大分県に居住する身元引受人を定め、志願者のみが大分県に転住する場合

ただし、（イ）は以下のいずれかに該当する者に限る。

- ・大分・別府両市以外の高等学校を志願する者
- ・帰国・外国人生徒特別入試で別府翔青高等学校を志願する者
- ・居住する都道府県に芸術科を有する高等学校がないなどの理由により、芸術緑丘高等学校を志願する者

(1) 申請期間

第 1 期（推薦入試等、一次入試、二次入試に対応可）

令和 6 年 12 月 9 日（月） ～ 令和 6 年 12 月 27 日（金）

- ・受付は午前 9 時から午後 4 時までとする。ただし、申請最終日は午前 9 時から正午までとし、土曜日及び日曜日は受付をしない。
- ・郵送の場合は「書留」とし、申請期間内に**必着**のこと。

第 2 期（一次入試、二次入試に対応可）

令和 7 年 1 月 16 日（木） ～ 令和 7 年 1 月 28 日（火）

- ・受付は午前 9 時から午後 4 時までとする。ただし、申請最終日は午前 9 時から正午までとし、土曜日及び日曜日は受付をしない。
- ・郵送の場合は「書留」とし、申請期間内に**必着**のこと。

(2) 申請先

大分県立高等学校志願許可審査委員会

（〒870-8503 大分市府内町 3 丁目 10-1 大分県教育庁高校教育課内）

(3) 申請手続

① 申請者の行う手続

（ア）大分県に一家転住する場合

申請者は、次の表に示す関係書類を在籍又は出身中学校長を経て、第 1 期又は第 2 期の申請期間内に大分県立高等学校志願許可審査委員会に提出しなければならない。

大分県立高等学校入学志願許可願（様式 11 号の 1）

中学校長あての返信用封筒（長形 3 号〔23.5cm×12cm〕、一人につき一枚準備）
（410 円切手を貼付〔「速達」と朱書き〕）

なお、入学の際は、**入学式の 4 日前まで**（土曜日又は日曜日の場合はその前日又は前々日の金曜日まで）に志願者及び保護者が大分県内に住所を有していることが証明できる住民票を入学する高等学校長に提出するものとする。

(イ) 大分県に居住する身元引受人を定め、志願者のみが大分県に転住する場合

申請者は、身元引受人を設定し、次の表に示す関係書類を在籍又は出身中学校長を経て、第1期又は第2期の申請期間内に大分県立高等学校志願許可審査委員会に提出しなければならない。

なお、身元引受人とは、志願者の在学中、保護者とともに志願者の日常生活に責任をもって関わり、緊急時には保護者に代わって対応できる成年者とする。原則、一人が複数の志願者の身元引受人となることはできない。ただし、兄弟姉妹など生計を一にする複数の志願者についてはこの限りではない。

大分県立高等学校入学志願許可願（様式11号の1）
身元引受書（誓約書）（様式11号の2）
身元引受人の現住所（大分県内）の住民票
中学校長あての返信用封筒（長形3号〔23.5cm×12cm〕、一人につき一枚準備） （410円切手を貼付〔「速達」と朱書き〕）

なお、入学の際は、**入学式の4日前まで**（土曜日又は日曜日の場合はその前日又は前々日の金曜日まで）に志願者が大分県内に住所を有していることが証明できる住民票を入学する高等学校長に提出するものとする。

② 中学校長の行う手続

中学校長は、①の申請者の提出書類に所定事項を記入した上で、第1期又は第2期の申請期間内に大分県立高等学校志願許可審査委員会に提出すること。

(4) 結果通知

第1期は**令和7年1月14日（火）**までに、第2期は**令和7年2月3日（月）**までに、在籍又は出身中学校長あてに**発送**する。

2 申請を必要としないもの

(1) 県外隣接地域からの志願

次の表の左欄に掲げる福岡県及び熊本県の中学校を卒業見込みの者又は卒業した者が、右欄に掲げる高等学校を志願するときは、入学志願許可の手続は不要である。

県外隣接中学校	許容する高等学校
福岡県吉富町外一市中学校組合立吉富中学校 福岡県上毛町立上毛中学校	中津南・中津南耶馬溪校 中津北・中津東
福岡県東峰村立東峰中学校 福岡県うきは市立吉井中学校 福岡県うきは市立浮羽中学校	日田・日田林工 日田三隈
熊本県産山村立産山学園 熊本県阿蘇市立一の宮中学校 熊本県阿蘇市立阿蘇中学校 熊本県阿蘇市立波野中学校 熊本県高森町立高森中学校 熊本県高森町立高森東学園義務教育学校	竹田・久住高原農業

(2) 安心院高等学校普通科・国東高等学校全学科・久住高原農業高等学校農業科・日田林工高等学校林業科への全国募集志願

① 応募資格

全国募集志願者は、県外の中学校を卒業見込みの者又は卒業した者とする。ただし、久住高原農業高等学校農業科及び日田林工高等学校林業科については、該当する県外隣接中学校を除く。

② 推薦入試

ア 募集人員は、全国募集枠とする。

イ その他については「第 7 推薦入学者選抜」に準じて行う。

③ 一次入試

ア 募集人員

推薦入試において、全国募集枠を満たした場合、募集はしない。

募集人員は、全国募集枠のうち、推薦入試において全国募集により合格内定した者の数を減じた数とする。

イ その他については「第 10 第一次入学者選抜」に準じて行う。

④ 二次入試

「第 11 第二次入学者選抜」に準じて行う。

⑤ その他

全国募集志願者については、上記の記載にかかわらず、入学志願許可の手続は不要である。また、該当する県外隣接中学校から志願するときは、県外隣接地域からの志願として扱う。

3 入学考査料納付の方法

郵送で出願する場合は、入学考査料を普通為替、又は定額小為替で納付すること。為替には指定受取人住所や氏名などを記入しないこと。為替の手数料は、志願者負担とする。

その他については「第 4 入学考査料」に準ずる。

第15 その他の事項

1 調査書及び教科学習成績一覧表の作成

- (1) 作成基準日
令和6年12月末日現在
- (2) 調査書等作成について
 - ① 調査書及び教科学習成績一覧表の作成に当たっては、公正を期するため、中学校ごとに調査書等作成委員会を設け、その審議を経るものとする。
 - ② 調査書等作成委員会は、校長を委員長とし、副校長、教頭及び教員若干名をもって組織する。
 - ③ 調査書及び教科学習成績一覧表の作成に当たっては、記入要領によること。
 - ④ 調査書は、県教育委員会のホームページから入手し、所定の様式に従って作成するものとする。ただし、令和5年3月以前の卒業者は様式が異なるので留意すること。

2 入学者選抜結果に関する保有個人情報の目的外提供

受験者は、個人情報の保護に関する法律の規定に基づき、次のとおり本人からの求めに応じて、大分県立高等学校入学者選抜の結果に関する本人提供の請求をすることができる。

- (1) 本人提供の請求対象となる情報
 - ① 推薦入試における小論文の結果、適性検査の結果及び面接の結果
 - ② 一次入試の学力検査における教科別得点、その合計点、適性検査及び面接の結果
 - ③ 二次入試の学力検査における教科別得点、その合計点、小論文の結果、適性検査の結果及び面接の結果
 - ④ 特例選抜Aにおける小論文の結果、適性検査の結果及び面接の結果（芸術緑丘高等学校のみ）
 - ⑤ 特例選抜Bにおける学力検査の教科別得点、その合計点、小論文の結果、適性検査の結果及び面接の結果
- (2) 本人提供の請求対象者
受験者本人
- (3) 本人提供の請求期間

令和7年3月17日（月） ～ 令和7年3月31日（月）

ただし、二次入試が行われた場合は、令和7年3月24日（月） ～ 令和7年3月31日（月）

- ・ 受付は、全日制課程及び爽風館高等学校定時制課程は午前9時から午後4時まで、爽風館高等学校を除く定時制課程は午後2時から午後6時までとする。
 - ・ 土曜日、日曜日及び祝日は受付をしない。
- (4) 本人提供の請求先
受験した高等学校（分校を含む）とする。
 - (5) 持参するもの
受験票
ただし、紛失等の理由で受験票を提示できない場合は、次の①及び②を提示する。
 - ① 卒業証書又は卒業証明書
 - ② 健康保険の被保険者証やマイナンバーカード又はそれに準ずる書類
 - (6) 本人提供の方法
(5)により本人であることを確認した上で、閲覧により本人提供する。

3 そ の 他

高等学校長は、出願について虚偽の記載等不正の事実が判明したときは、入学許可後においても当該許可を取り消すことがある。

※		※	
受付 番号		受験 番号	

推薦入学者選抜入学願書
連携型中高一貫教育に係る入学者選抜入学願書
帰国・外国人生徒特別入学者選抜入学願書

推薦入試A
推薦入試B
来風館特別
連携型入試
帰国・外国人生徒特別

大分県立
(
高等学校長 殿
校)

令和 年 月 日

志願者氏名
保護者氏名

(自署)
(自署)

以下のとおり志願します。

志願者	ふりがな氏名				(志願者写真欄) 1. 縦4cm×横3cm程度 2. 上半身、正面、無帽 3. 最近6ヶ月以内に撮 影したもの 4. 白黒・カラーを問わない 5. 写真の裏に氏名を記 入しておくこと
	生年月日	昭和 年 月 日生			
	現住所	郵便番号 (-)			
保護者	氏名				志願者との関係
	現住所	郵便番号 (-)			
電話番号	固定電話 (-)	携帯電話 (-)			
出身中学校	所在地	平成 年度			組 番
	学校名	第3学年			
志望学科	第1志望	全日制課程 定時制課程 定時制課程 (3部制) (部)	科		
		全国募集による志願 *			
	第2志望	全日制課程 定時制課程 定時制課程 (3部制) (部)	科		
第3志望 (来風館高校のみ)	定時制課程 (3部制) (部)	科			

(様式1号裏面)

推薦入学者選抜入学願書
連携型中高一貫教育に係る入学者選抜入学願書
帰国・外国人生徒特別入学者選抜入学願書
記入上の注意

推薦入試A 推薦入試B 来風館特別 連携型入試 帰国・外国人生徒特別
--

- 1 推薦入試A
推薦入試B
来風館特別
連携型入試
帰国・外国人生徒特別
は該当するものを○で囲む。
- 2 年月日は、作成した年月日とする。
- 3 志願者氏名及び保護者氏名は自署すること。その他の箇所はワープロ入力でも可とする。その場合、ホーム
ページからダウンロードした様式を両面印刷して使用すること。
- 4 氏名は、戸籍記載どおりに記入する。
- 5 生年月日欄の昭和・平成は、該当項目を○で囲む。
- 6 志願者との関係は、例えば「父」と記入する。
- 7 電話番号欄の固定電話・携帯電話は、該当項目を○で囲み、保護者と連絡がつく番号を記入する。() 内
は、携帯電話所有者を志願者との関係で記入する。
なお電話は緊急時に使用する。
- 8 出身中学校欄の平成・令和は、該当項目を○で囲む。
- 9 義務教育学校においては、出身中学校欄には第9学年の組を記入する。
- 10 志望学科欄の全日制課程・定時制課程・定時制課程 (3部制) は、当該項目を○で囲む。
- 11 来風館高等学校を志願する場合は、志望学科欄の定時制課程 (3部制) を○で囲み、(部) 内にI部、
II部、III部の別を記入する。
- 12 安心院高等学校普通科・国東高等学校全学科・久住高原農業高等学校農業科・日田林工高等学校林業科を
全国募集により県外から志願する者は、第1志望欄の * 枠内に○を記入する。該当しない場合は、
空欄とする。
- 13 記入不要の欄 (空欄) が生じた場合は、左上から右下に斜線を記入する。
ただし「全国募集による志願」の欄を除く。
- 14 願書に記入いただいた氏名、住所その他の個人情報、入学選抜事務及び学籍管理事務の目的以外には使用
しません。
- 15 ※の欄は記入しない。

推薦書

令和 年 月 日

大分県立
(
高等学校長 殿
校)

中学校名
校長 名

印

下記の者を推薦します。

記

志願者	ふりがな氏名	昭和 平成	年 月 日 生
志望学科	第1志望	全日制課程 定時制課程	
	第2志望	全日制課程 定時制課程	
		科	
		科	

推薦の理由

志望の動機及び理由	
推薦要件に即した 具体的推薦理由 及び総合所見等	

大分県立爽風館高等学校（定時制課程）志願理由書

令和 年 月 日

大分県立爽風館高等学校長 殿

志願者	ふりがな氏名		昭和 平成	年	月	日生
保護者氏名						
志望学科	第1志望	定時制課程 (部)	科			
	第2志望	定時制課程 (部)	科			
	第3志望	定時制課程 (部)	科			

大分県立爽風館高等学校の出願要件

本校の「教育目標」を理解し、「求める生徒像」のいずれかに当てはまる者で、定時制課程を志する
動機及び理由が明白であり、本校への入学を強く希望する者

1. 教育目標
生徒一人ひとりの個性や能力を伸長すると共に、調和のとれた豊かな人間性を育み、社会に有為な人材を育成する。
2. 求める生徒像
- ① 夢や希望の実現に向けて、自己の可能性にチャレンジする生徒
 - ② 自ら課題を見つけ、考え、主体的に行動する意欲のある生徒
 - ③ 自分らしさを求め、自分の特性や能力を伸ばしたい生徒

志願理由書記入上の注意

- 1 必ず志願者本人が、黒または青のペンもしくはボールペンで記入してください。
- 2 第2志望、第3志望は希望する場合のみ記入して下さい。

由理の願志

志願の動機及び理由について、出願要件を踏まえて、できるだけ具体的に記入してください。

[illegible]
$$(20 \times 20)$$

大分県立 (高等学校校長 殿 校)			(中学校発信番号) 令和 年 月 日	
中学校名 校長 名			印	
推薦入学者選抜入学志願者、連携型中高一貫教育に係る入学者選抜入学志願者 及び帰国・外国人生徒特別入学者選抜入学志願者関係書類の送付について				
このことについて、下記のとおり送付します。				
記				
	区 分	志 願 者 数	志願者のうち通年度卒業者数	
1	推 薦 入 学 者 選 抜 入 学 願 書			
2	連携型中高一貫教育に係る 入学者選抜入学願書			
3	帰国・外国人生徒特別 入学者選抜入学願書			
4	入 学 考 査 料 納 入 者			
5	大 分 県 立 高 等 学 校 入 学 志 願 許 可 書			
6	志 願 承 諾 書			
7	調 査 書			
8	推 薦 理 由 書)			
9	志 望 調 査 票 (芸術・緑丘高等学校音楽科志願者のみ)			
10	中高連携した学習の記録			
11	帰国・外国人生徒特別入学者 選抜志願に係る申告書			
12	教 科 学 習 成 績 一 覧 表	有 ・ 無		

校長 殿				(高等学校発信番号) 令和 年 月 日	
大分県立 (高等学校 校)				印	
推薦入学者選抜入学志願者の選抜結果について (通知) (連携型中高一貫教育に係る入学者選抜入学志願者の選抜結果について (通知)) (帰国・外国人生徒特別入学者選抜入学志願者の選抜結果について (通知)) (特例選抜 A 入学志願者の選抜結果について (通知))					
このことについて、下記のとおり決定したので通知します。					
記					
受験番号	氏 名	合格内定者	合格内定した部・学科	合格内定者と ならなかった者	
・「合格内定者」、「合格内定者とならなかった者」のいずれか一方の欄に○印を記入する。なお、「合格内定者とならなかった者」には不受験者も含む。					

推薦入学者選抜合格内定通知書

令和 年 月 日

(中学校名)

受験番号
氏 名 殿

大分県立 (高等学校
校)

校 長 印

あなたは、令和 年度大分県立高等学校推薦入学者選抜において、
本校 課程 科に
合格が内定したので通知します。

連携型中高一貫教育に係る入学者選抜合格内定通知書

令和 年 月 日

(中学校名)

受験番号
氏 名 殿

大分県立 (高等学校
校)

校 長 印

あなたは、令和 年度大分県立高等学校連携型中高一貫教育に係る
入学者選抜において、本校 課程 科に
合格が内定したので通知します。

帰国・外国人生徒特別入学者選抜合格内定通知書

令和 年 月 日

(中学校名)

受験番号

氏 名 殿

大分県立別府翔青高等学校

校 長

印

あなたは、令和 年度大分県立高等学校帰国・外国人生徒特別入学者選抜
において、本校 全日制 課程 グローバルコミュニケーション 科に
合格が内定したので通知します。

特別選抜 A 合格内定通知書

令和 年 月 日

(中学校名)

受験番号

氏 名 殿

大分県立

高等学校

校 長

印

あなたは、令和 年度大分県立高等学校特別選抜 A において、
本校 課程 科に
合格が内定したので通知します。

※	※
受付 番号	受験 番号

第一次入学者選抜入学願書

大分県立 ()
高等学校長 殿
校

令和 年 月 日

志願者氏名 (自署)
保護者氏名 (自署)

以下のとおり志願します。

志願者	ふりがな氏名	昭和 年 月 日生		(志願者写真欄) 1 縦4cm×横3cm程度 2 上半身、正面、無帽 3 最近6ヶ月以内に撮影したもの 4 白黒・カラーを問わない 5 写真の裏に氏名を記入しておくこと
	生年月日	昭和 平成	日生	
	現住所	郵便番号 (-)		
保護者	氏名	志願者との関係		
	現住所	郵便番号 (-)		
電話番号		固定電話 (-)	携帯電話 (-)	
出身中学校	所在地	平成 令和 年度 組 番		
	学校名	中学校での英語の履修 有・無		
志望学科	第1志望	全日制課程 定時制課程 定時制課程 (3部制) (部)	科	
		全国募集による志願 *		
	第2志望	全日制課程 定時制課程 定時制課程 (3部制) (部)	科	
第3志望 (褒風館高校のみ)	定時制課程 (3部制) (部)	科		

(様式7号裏面)
第一次入学者選抜入学願書記入上の注意

- 年月日は、作成した年月日とする。
- 志願者氏名及び保護者氏名は自署すること。その他の箇所はワープロ入力でも可とする。その場合、ホームページからダウンロードした様式を両面印刷して使用すること。
- 氏名は、戸籍記載どおりに記入する。
- 生年月日欄の昭和・平成は、該当項目を○で囲む。
- 志願者との関係は、例えば「父」と記入する。
- 電話番号欄の固定電話・携帯電話は、該当項目を○で囲み、保護者と連絡がつく番号を記入する。()内は、携帯電話所有者を志願者との関係で記入する。
なお電話は緊急時に使用する。
- 出身中学校欄の平成・令和は、該当項目を○で囲む。
- 義務教育学校においては、出身中学校欄には第9学年の組を記入する。
- 志望学科欄の全日制課程・定時制課程・定時制課程 (3部制) は、当該項目を○で囲む。
- 褒風館高等学校を志願する場合は、志望学科欄の定時制課程 (3部制) を○で囲み、(部)内にⅠ部、Ⅱ部、Ⅲ部の別を記入する。
- 安心院高等学校普通科・国東高等学校全学科・久住高原農業高等学校農業科・日田林工高等学校林業科を全国募集により県外から志願する者は、第1志望欄の * 枠内に○を記入する。該当しない場合は、空欄とする。
- 中学校での英語の履修欄は、該当項目を○で囲む。
- 記入不要の欄 (空欄) が生じた場合は、左上から右下に斜線を記入する。
ただし「全国募集による志願」の欄を除く。
- 願書に記入いただいた氏名、住所その他の個人情報、入学選抜事務及び学籍管理事務の目的以外には使用しません。
- ※の欄は記入しない。

※	※
受付 番号	受験 番号

第二次入学者選抜入学願書

大分県立 ()
高等学校長 殿
校

令和 年 月 日

志願者氏名 (自署)
保護者氏名 (自署)

以下のとおり志願します。

志願者	ふりがな氏名	昭和 年 月 日生		(志願者写真欄) 1 縦4cm×横3cm程度 2 上半身、正面、無帽 3 最近6ヶ月以内に撮影したもの 4 白黒・カラーを問わない 5 写真の裏に氏名を記入しておくこと
	生年月日	昭和 平成	日生	
	現住所	郵便番号 (-)		
保護者	氏名	志願者との関係		
	現住所	郵便番号 (-)		
電話番号	番号	固定電話 (-)	携帯電話 (-)	
出身中学校	所在地	平成 令和 年度 組 番		
	学校名	中学校での英語の履修 有・無		
志望学科	第1志望	全日制課程 定時制課程 定時制課程 (3部制) (部)	科	
		全国募集による志願 *		
	第2志望	全日制課程 定時制課程 定時制課程 (3部制) (部)	科	
第3志望 (褒風館高校のみ)	定時制課程 (3部制) (部)	科		

(様式 8 号裏面)

第二次入学者選抜入学願書記入上の注意

- 年月日は、作成した年月日とする。
- 志願者氏名及び保護者氏名は自署すること。その他の箇所はワープロ入力でも可とする。その場合、ホームページからダウンロードした様式を両面印刷して使用すること。
- 氏名は、戸籍記載どおりに記入する。
- 生年月日欄の昭和・平成は、該当項目を○で囲む。
- 志願者との関係は、例えば「父」と記入する。
- 電話番号欄の固定電話・携帯電話は、該当項目を○で囲み、保護者と連絡がつく番号を記入する。()内は、携帯電話所有者を志願者との関係で記入する。
なお電話は緊急時に使用する。
- 出身中学校欄の平成・令和は、該当項目を○で囲む。
- 義務教育学校においては、出身中学校欄には第9学年の組を記入する。
- 志望学科欄の全日制課程・定時制課程・定時制課程 (3部制) は、当該項目を○で囲む。
- 褒風館高等学校を志願する場合は、志望学科欄の定時制課程 (3部制) を○で囲み、(部)内にI部、II部、III部の別を記入する。
- 安心院高等学校普通科・国東高等学校全学科・久住高原農業高等学校農業科・日田林工高等学校林業科を全国募集により県外から志願する者は、第1志望欄の * 枠内に○を記入する。該当しない場合は、空欄とする。
- 中学校での英語の履修欄は、該当項目を○で囲む。
- 記入不要の欄 (空欄) が生じた場合は、左上から右下に斜線を記入する。
ただし「全国募集による志願」の欄を除く。
- 願書に記入いただいた氏名、住所その他の個人情報、入学選抜事務及び学籍管理事務の目的以外には使用しません。
- ※の欄は記入しない。

受付 番号	※	受験 番号	※
----------	---	----------	---

調 査 書

出身中学校		中学校名								ふりがな 氏 名		性 別					
		令和 年 月 卒業 卒業見込 (組 番)															
1 各教科等の学習の記録										2 特別活動の記録							
I 観点別学習状況										II 評 定							
教科		観 点		1年	2年	3年	1年	2年	3年	換 算 点	内 容	観 点		1年	2年	3年	
必修 教科	国語	知 識 ・ 技 能									学級活動						
		思 考 ・ 判 断 ・ 表 現															
		主体的に学習に取り組む態度															
	社会	知 識 ・ 技 能									生徒会活動						
		思 考 ・ 判 断 ・ 表 現															
		主体的に学習に取り組む態度															
	数学	知 識 ・ 技 能									学校行事						
		思 考 ・ 判 断 ・ 表 現															
		主体的に学習に取り組む態度															
	理科	知 識 ・ 技 能									3 行 動 の 記 録						
		思 考 ・ 判 断 ・ 表 現															
		主体的に学習に取り組む態度															
	音楽	知 識 ・ 技 能									基本的な生活習慣						
		思 考 ・ 判 断 ・ 表 現															
		主体的に学習に取り組む態度															
	美術	知 識 ・ 技 能									健康・体力の向上						
		思 考 ・ 判 断 ・ 表 現															
		主体的に学習に取り組む態度															
保健体育	知 識 ・ 技 能									自主・自律							
	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現																
	主体的に学習に取り組む態度																
技術・家庭	知 識 ・ 技 能									責 任 感							
	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現																
	主体的に学習に取り組む態度																
外国語	知 識 ・ 技 能									創 意 工 夫							
	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現																
	主体的に学習に取り組む態度																
選 択 教 科	知 識 ・ 技 能									4 健 康 の 状 況							
	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現																
	主体的に学習に取り組む態度																
選 択 教 科	知 識 ・ 技 能									5 出 欠 の 記 録							
	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現																
	主体的に学習に取り組む態度																
選 択 教 科	知 識 ・ 技 能									学 年	欠席日数	欠席の主な理由・遅刻・早退等					
	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現																
	主体的に学習に取り組む態度																
選 択 教 科	教 科		評 定			1年計	2年計	3年計	換算計	1 年							
			1年	2年	3年	ア	イ	ウ	エ								
選 択 教 科						合 計			※	2 年							
						ア+イ+ウ								3 年			
						ア+イ+ウ+エ											
選 択 教 科									※	6 総 合 所 見							
総合的な学習の時間																	
学年	学習活動(単元)				評 価												
1年																	
2年																	
3年																	
記載責任者氏名								本書の記載事項に誤りがないことを証明します。									
								令和 年 月 日									
中学校名								校 長 名									
								印									

調 査 書 記 入 要 領

1 各教科等の学習の記録

A 必修教科

I 観点別学習状況

第1学年、第2学年の評価は生徒指導要録に記載してある「A」を記入する。

第3学年の評価は令和6年12月末日までの学習状況进行评估して、「A」を記入する。

いずれの学年とも「B」「C」は記入しない。

II 評 定

(1) 第1学年、第2学年の評定は生徒指導要録に記載してある5段階評定を記入する。

(2) 第3学年の評定は5段階とし、各教科ごとに2倍して記入する。

(3) 第3学年の評定は、令和6年12月末日までの学習成績を総合して行う。

(4) 音楽、美術、保健体育、技術・家庭については(1)、(2)で記入したものを合計して換算点欄に記入する。

(5) 各学年ごとに評定欄に記入した評定を合計し、ア、イ、ウの欄にそれぞれ記入し、その総計を合計欄（ア＋イ＋ウ）に記入する。

(6) の欄及び※の欄について

① 中学校は記入を要しない。

② 高等学校は、音楽、美術、保健体育、技術・家庭を除く教科で、学力検査を実施しない教科があれば、(1)、(2)で記入されたものを合計して換算点欄に記入する。

③ 高等学校は、換算点欄を合計してエの欄に記入するとともに、合計欄（ア＋イ＋ウ＋エ）に総合計を記入する。

B 選択教科

(1) 選択教科名を記入する。

(2) 評定については、第1学年、第2学年は生徒指導要録に記載してある評定を、第3学年は令和6年12月末日までの成績を評定して、「A」「B」「C」で記入する。

観点別学習状況の評価については記入を要しない。

C 総合的な学習の時間

(1) 第1学年、第2学年の学習活動（単元）及び評価は、生徒指導要録に記載してあるものを記入する。

(2) 第3学年の学習活動（単元）及び評価は、令和6年12月末日までの学習について記入する。

2 特別活動の記録

各学校が自ら定めた特別活動全体に係る評価の観点を記入した上で、各活動・学校行事ごとに、評価の観点到照して十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に、「○」を記入する。

第3学年は令和6年12月末日までの活動の状況进行评估して「○」を記入する。

3 行動の記録

令和6年12月末日までの第3学年の行動の状況进行评估して「○」を記入する。

4 健康の状況

受験並びに高校での就学に関して、健康上配慮すべき事項があれば記述し、なければ「特記事項なし」と記入する。

5 出欠の記録

- (1) 第1学年、第2学年は、生徒指導要録に記載してあるものを記入する。
- (2) 第3学年は、令和6年12月末日までのものを記入する。
- (3) 欠席日数欄は、欠席がない場合は「0」を記入する。
- (4) 欠席日数が各学年10日以上ある場合は、欠席の主な理由を欠席の主な理由・遅刻・早退等欄に記入する。

6 総合所見

各教科や総合的な学習の時間の学習に関する所見、特別活動に関する事実及び所見、行動に関する所見、その他の特記事項を含め、生徒の特長・特技等生徒の個性が総合的に把握できるよう具体的に記入する。

7 注意事項

- (1) 記入事項のない欄については、左上から右下に斜線を引くこと。
- (2) 調査書は県教育委員会のホームページから入手すること。また、過年度卒業者の調査書の記載については、「生徒指導要録」に基づいて記入すること。
- (3) 令和7年度入学者選抜の様式を用いて作成すること。
- (4) 令和7年3月卒業見込者及び令和6年3月卒業者については、令和7年3月卒業見込者及び令和6年3月卒業生用の様式を用いて作成すること。
- (5) 令和5年3月の卒業生については、令和5年3月卒業生用の様式を用いて作成すること。
- (6) 令和4年3月の卒業生については、令和4年3月卒業生用の様式を用いて作成すること。
- (7) 令和3年3月以前の卒業生については、令和3年3月以前の卒業生用の様式を用いて作成すること。ただし、中学校卒業後5年以上経過している者は、調査書に代えて中学校の卒業証明書を提出すること。その場合は、出願前に高校教育課高校改革推進班（電話097-506-5617）まで連絡すること。
- (8) 義務教育学校における第7学年の評価等は1年、第8学年の評価等は2年、第9学年の評価等は3年の各欄に記入すること。

教 科 学 習 成 績 一 覧 表

中学校名
校 長 名

印

1 教科ごとの評定の分布 (3 年次のみ)

	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保健体育	技術・家庭	外国語
5									
4									
3									
2									
1									
欠									
合計									

(記入上の注意) ・長期欠席等で評定を欠く者がいれば、欠の欄にその人数を記入する。

・該当者がいない欄は「0」を記入する。

2 教科概評の分布

教科概評区分	人数
A	
B	
C	
D	
E	
欠	
合 計	

記入上の注意

- ① 教科概評区分 (A～E) は下記による。
② 調査書の評定欄に欠がある者がいれば、欠の欄に
その人数を記入する。

教科概評区分

調査書の合計欄 (ア+イ+ウ) の数値を次の区分に従って、
A、B、C、D、E の 5 段階に分ける。

合計欄の数値	教科概評
1 8 0 ～ 1 5 2	A
1 5 1 ～ 1 2 3	B
1 2 2 ～ 9 4	C
9 3 ～ 6 5	D
6 4 以下	E

大分県立高等学校入学志願許可願

令和 年 月 日

大分県教育委員会教育長 殿

志願者氏名

保護者氏名

下記の事情により、大分県立高等学校入学選抜を受験したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

志願者	ふりがな氏名		
保護者	ふりがな氏名	志願者との関係	
出願予定の高等学校名			
転居予定の市町村			
(注) 身分引受人氏名	ふりがな氏名	志願者との関係	
許可を必要とする理由			

(注) 大分県に一家転住しない場合に記入すること。

上記のとおり、相違ないこと及び貴県以外の公立高等学校を志願していないことを証明します。

令和 年 月 日
中学校名
所在地 (〒 -)
電 話 校長名 印

身元引受書 (誓約書)

令和 年 月 日

大分県教育委員会教育長 殿

私は、(志願者氏名) が大分県立高等学校に入学した場合、その

身元引受人として、志願者の在学中、保護者とともに志願者の日常生活に責任をもって関わり、緊急時には保護者に代わって対応することを誓約します。

身元引受人氏名



ふりがな 身元引受人氏名	
身元引受人住所	
連絡先 (電話番号)	
志願者との続柄・間柄等	

大分県立高等学校入学志願許可書
(推薦入学者選抜用)
(帰国・外国人生徒特別入学者選抜用)

令和 年 月 日

(中学校名)
(志願者) 殿

大分県教育委員会教育長 印

さきに願い出のありましたことについて許可します。

【許可理由】 () 一家転住によるもの
() 身元引受人によるもの

※ 許可書は入学願書に添付して、志願先の高等学校校長に提出すること。

大分県立高等学校入学志願許可書 (第 一 次 入 学 者 選 抜 用)		令和 年 月 日
(中学校名)	殿	
(志 願 者)		
大分県教育委員会教育長		印
さきに願い出のありましたことについて許可します。		
【許可理由】	() 一家転住によるもの	
	() 身元引受人によるもの	

※ 許可書は入学願書に添付して、志願先の高等学校校長に提出すること。

大分県立高等学校入学志願許可書 (第 二 次 入 学 者 選 抜 用)		令和 年 月 日
(中学校名)	殿	
(志 願 者)		
大分県教育委員会教育長		印
さきに願い出のありましたことについて許可します。		
【許可理由】	() 一家転住によるもの	
	() 身元引受人によるもの	

※ 許可書は入学願書に添付して、志願先の高等学校校長に提出すること。

(さきに出願した高等学校長あて)

志願変更願 (甲) (さきに出願した高等学校) 大分県立 高等学校長 殿 (校)			令和 年 月 日
志願者	ふりがな氏名	昭和 年 月 日生	
	生年月日	平成	
保護者氏名			

志望学科	第 1 志望 全日制課程 定時制課程 (3 部制) (部)	科
	第 2 志望 全日制課程 定時制課程 (3 部制) (部)	科
	第 3 志望 (狭範囲高校のみ)	科

さきに、上記のように貴校に入学願書を提出しましたが、下記のとおり志願変更したいので、許可くださるようお願いします。

【志願変更先高等学校】

高等学校名	大分県立	高等学校 (校)
第 1 志望	全日制課程 定時制課程 (3 部制) (部)	科
第 2 志望	全日制課程 定時制課程 (3 部制) (部)	科
第 3 志望 (狭範囲高校のみ)	定時制課程 (3 部制) (部)	科

上記のとおり、相違ないことを証明します。		
令和 年 月 日	中学校名	高等学校 (校)
	校長 名	校長 名

(志願変更先高等学校長あて)

志願変更願 (乙) (志願変更先高等学校) 大分県立 高等学校長 殿 (校)			令和 年 月 日
志願者	ふりがな氏名	昭和 年 月 日生	
	生年月日	平成	
保護者氏名			

下記のとおり志願変更したいので、許可くださるようお願いします。

【志願変更先高等学校】

高等学校名	大分県立	高等学校 (校)
第 1 志望	全日制課程 定時制課程 (3 部制) (部)	科
第 2 志望	全日制課程 定時制課程 (3 部制) (部)	科
第 3 志望 (狭範囲高校のみ)	定時制課程 (3 部制) (部)	科

上記のとおり、相違ないことを証明します。		
令和 年 月 日	中学校名	高等学校 (校)
	校長 名	校長 名

高等学校長
職 印

大分県教育庁高校教育課長 殿

(中学校発信番号)
令和 年 月 日

中学校名
校 長 名 印

大分県立高等学校教科学習成績一覧表の送付について

このことについて、別添のとおり送付します。

教科学習成績一覧表 1 部

大分県立高等学校長 殿

(中学校発信番号)
令和 年 月 日

中学校名
校 長 名 印

第一次入学希望者関係書類の送付について

このことについて、下記のとおり送付します。

記

大分県立高等学校 (校) 【 全日制 ・ 定時制 】
※どちらかに○をつける

区 分		志 願 者 数	志願者のうち過年度卒業者数
1	第一次入学希望者選抜入学書		
2	入学査料納入者	現金納付分	
		入学査料領収証明書	
		入学査料領収証明書・差額	
3	大分県立高等学校入学志願許可書		
4	志願承諾書		
5	調査書		
6	志 望 調 査 票 (芸術緑丘高等学校音楽科志願者のみ)		
7	教科学習成績一覧表	有 ・ 無	

大分県立		高等学校長 殿	(中学校発信番号) 令和 年 月 日	
		中学校名 校 長 名	印	
第一次入学者選抜入学志願変更願の送付について				
このことについて、下記のとおり送付します。				
記				
大分県立		高等学校 (	校) 【 全日制 ・ 定時制 】	志願者のうち過年度卒業者数
		※どちらかに○をつける		
区	分	志	願	者
1	第一次入学者選抜 入学願書	志	願	者
2	入学査料 納入者	入学査料領収 証明書	入学査料領収 証明書・差額	志願者のうち過年度卒業者数
3	志願変更願 (甲・乙)			
4	志願変更願 (乙)			
5	大分県立高等学校 入学志願許可書			
6	志願承諾書			
7	調査書			
8	志望調査票 (芸樟緑丘高等学校音楽科志願者のみ)			
9	教科学習成績一覧表	有	・	無

大分県立		高等学校長 殿	(中学校発信番号) 令和 年 月 日	
		中学校名 校 長 名	印	
第二次入学者選抜入学志願者関係書類の送付について				
このことについて、下記のとおり送付します。				
記				
大分県立	高等学校 (	校) 【 全日制 ・ 定時制 】	志願者のうち過年度卒業者数	
			※どちらかに○をつける	
区	分	志	願	者
1	第二次入学者選抜 入学願書	志	願	者
2	入学査料納入者			
3	大分県立高等学校 入学志願許可書			
4	志願承諾書			
5	調査書			
6	志望調査票 (芸樟緑丘高等学校音楽科志願者のみ)			
7	教科学習成績一覧表	有	・	無

身体に障がいのある受験者に関する配慮申請書	
令和 年 月 日	
大分県教育委員会教育長 殿	
中学校名 校 長 名	
本校生徒 (卒業生) の障がいの状況は、以下のとおりです ので、入学者選抜については必要な配慮を行うようお願いいたします。	
障がいの種別・程度	
本校における生活状況 及び指導上の配慮内容	
受験において必要な 配慮の内容	
志願 (予定) 高等学校	
推薦入試等の受験 (予定)	有 ・ 無

(記入上の注意)

- 1 聴覚障がいの場合
① 原則として両耳の聴力レベルが25デシベル以上の者を対象とする。ただし、補聴器の使用により、英語リスニングテストの通常の受験が可能となる者を除く。
なお、医師の診断書、またはオーディオグラム等を添付すること。
② 「障がいの種別・程度」欄には、聴力レベル等を具体的に記入すること。
③ 「受験において必要な配慮の内容」欄には、補聴器を使用し、かつ、別室において音量増大等の配慮を行った場合に、聞き取りが可能か等についての所見も記入すること。
その他の障がいの場合
① 「障がいの種別・程度」欄及び「本校における生活状況及び指導上の配慮内容」欄には、志願者の状況を具体的に分かりやすく記入すること。
なお、医師の診断書等を添付すること。
② 「受験において必要な配慮の内容」欄には、どのような手段を講じれば、受験が可能か等について、具体的な所見を記入すること。
③ 志願する高等学校が決定していない場合、「志願 (予定) 高等学校」欄には、「未定」と記入すること。
④ 推薦入試、連携型入試、帰国・外国人生徒特別入試受験について、「推薦入試等の受験 (予定)」欄の該当する方に「○」をつけること。

その他の事情に関する配慮申請書	
令和 年 月 日	
大分県教育委員会教育長 殿	
中学校名 校 長 名	
本校生徒 (卒業生) の状況は、以下のとおりです、入学者選抜については必要な配慮を行うようお願いいたします。	
その他の事情の内容・ 状況等	
本校における生活状況 及び指導上の配慮内容	
受験において必要な 配慮の内容	
志願 (予定) 高等学校	
推薦入試等の受験 (予定)	有 ・ 無

(記入上の注意)

- 1 「その他の事情の内容・状況等」欄及び「本校における生活状況及び指導上の配慮内容」欄には、受験者の現状を具体的に分かりやすく記入すること。
② 「受験において必要な配慮の内容」欄には、どのような手段を講じれば、受験が可能か等について、具体的な所見を記入すること。
③ 医師の診断書等、上記の記述を証明できる書類等を添付すること。
④ 志願する高等学校が決定していない場合、「志願 (予定) 高等学校」欄には、「未定」と記入すること。
⑤ 推薦入試、連携型入試、帰国・外国人生徒特別入試受験について、「推薦入試等の受験 (予定)」欄の該当する方に「○」をつけること。

帰国・外国人生徒に関する特例措置適用申請書

令和 年 月 日

大分県教育委員会教育長 殿

中学校名
校長 名 国

本校生徒（卒業生）
の状況は、以下のとおりですので、入学者
選抜については必要な特例措置及び配慮を行うようお願いいたします。

対象者の区分	帰国生徒	外国人生徒
海外在留地名 (国 名)		
海外在留期間	年 月 ～ 年 月 (年 月間)	
学 校	所在地(国名・都市名)	在 学 期 間
教 育 歴		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
本校における生活状況 及び指導上の配慮内容		
受験において必要な 特例措置及び配慮		
志願(予定)高等学校		
推薦入試等の受験(予定)	有 ・ 無	

(記入上の注意)

- 1 「対象者の区分」欄は、該当する方に「○」をつけること。
- 2 学校教育歴は、小学校から現在在籍している学校まで順に、国内・国外のすべての学校について記入すること。
- 3 「受験において必要な特例措置及び配慮」欄には、どのような手段を講じれば、受験が可能か等について、具体的な所見を記入すること。
- 4 志願する高等学校が決定していない場合、「志願(予定)高等学校」欄には、「未定」と記入すること。
- 5 推薦入試、連携型入試、帰国・外国人生徒特別入試受験について、「推薦入試等の受験(予定)」欄の該当する方に「○」をつけること。

帰国・外国人生徒特別入学者選抜志願に係る申告書

令和 年 月 日

大分県立別府翔青高等学校長 殿

中学校名
校長 名 国

本校生徒（卒業生）
について、帰国・外国人生徒特別入学者
選抜への志願が適当であることを認め、志願するにあたり、以下のとおり状況を
申告します。

対象者の区分	帰国生徒	外国人生徒
海外在留地名 (国 名)		
海外在留期間	年 月 ～ 年 月 (年 月間)	
学 校	所在地(国名・都市名)	在 学 期 間
教 育 歴		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月
特 記 事 項		

(記入上の注意)

- 1 「対象者の区分」欄は、該当する方に「○」をつけること。
- 2 学校教育歴は、小学校から現在在籍している学校まで順に、国内・国外のすべての学校について記入すること。

特例選抜受験願

大分県立

高等学校長 殿

中学校名

校 長 名

印

大分県立

高等学校

(

校 長

)

印

貴校を志願している下記の本校生徒（卒業生）について、以下の理由により、大分県立高等学校入学者選抜の
特例選抜A ・ 特例選抜B ※1
を受験させていただきようお願いします。

記

大分県立 高等学校（ 校）【 全日制 ・ 定時制 】 ※どちらかに○をつける

受験番号	入試区分 ※2	生徒氏名	理 由 ※3
記入例	推薦A	大分 花子	インフルエンザに罹患し、39℃を超える高熱がある
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

※1 「特例選抜A ・ 特例選抜B」は該当する特例選抜に「○」を記入すること。
※2 入試区分は「推薦A、推薦A・外国人特別、一次」のいずれかを記入すること。
※3 受験生の状況を簡潔に記述すること。

(特例選抜を受験できる条件)

試験当日にインフルエンザ等、学校保健安全法施行規則第18条「学校において予防すべき感染症」に指定されている疾病等に罹患しており、高熱などによって受験することができずに欠席した者、又は月経随症等に伴う体調不良等で受験することができずに欠席した者。対象となる選抜を一部でも受験した者は、原則として特例選抜の対象外とする。

校長 殿

大分県立

(

校 長

)

印

先に願い出のありました 特例選抜A ・ 特例選抜B ※1
について、下記の志願者の受験を許可します。

記

受験番号	入試区分 ※2	生徒氏名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

※1 「特例選抜A ・ 特例選抜B」は該当する特例選抜に「○」を記入すること。
※2 入試区分は「推薦A、推薦A・外国人特別、一次」のいずれかを記入すること。

連絡事項

令和○年○月○日 (○) ○ : ○○
①集合日時 ○○○高等学校 ○○○○
②集合場所 別紙参照 ※別紙は各高等学校で作成してください。（様式任意）
③検査日程 受験票を持参すること
④その他

大分県立高等学校入学選抜出願関係書類一覧

◎必ず提出 ○一部の志願者または一部の中学校が提出

	推薦入試（爽風館特別入試を含む）			
	県内から志願する場合	県外から志願する場合 ※1	県外隣接中学校から 許容する高等学校への志願	全国募集志願
推薦入学選抜入学願書（様式1号）	◎	◎	◎	◎
推薦書（様式2号）	○ （爽風館高等学校は不要）	○ （爽風館高等学校は不要）	◎	◎
志願理由書（様式3号）	○ （爽風館高等学校のみ）	○ （爽風館高等学校のみ）		
関係書類の送付（鑑）（様式4号）	◎	◎	◎	◎
調査書（様式9号）	◎	◎	◎	◎
教科学習成績一覧表（様式10号）	◎		◎	
志望調査票	○ （芸術緑丘高等学校音楽科のみ）	○ （芸術緑丘高等学校音楽科のみ）		
大分県立高等学校入学志願許可書 （様式11号の3）		○ （全日制及び爽風館高等学校（Ⅲ部のみ） を志願する者を除く）		

	連携型入試	帰国・外国人生徒特別入試	
		県内から志願する場合	県外から志願する場合
連携型中高一貫教育に係る入学選抜 入学願書（様式1号）	◎		
帰国・外国人特入学選抜入学願書 （様式1号）		◎	◎
関係書類の送付（鑑）（様式4号）	◎	◎	◎
調査書（様式9号）	◎	◎	◎
教科学習成績一覧表（様式10号）	◎	◎	
中高連携した学習の記録	◎		
帰国・外国人特別入学選抜志願に係る 申告書（様式20号）		◎	◎
大分県立高等学校入学志願許可書 （様式11号の3）			◎

	一次入試			
	県内から志願する場合	県外から志願する場合 ※1	県外隣接中学校から 許容する高等学校への志願	全国募集志願
第一次入学選抜入学願書 （様式7号）	◎	◎	◎	◎
調査書（様式9号）	◎	◎	◎	◎
教科学習成績一覧表（様式10号）	○ ※2		○ ※2	
関係書類の送付（鑑）（様式14号）	◎	◎	◎	◎
志望調査票	○ （芸術緑丘高等学校音楽科のみ）	○ （芸術緑丘高等学校音楽科のみ）		
大分県立高等学校入学志願許可書 （様式11号の4）		○ （全日制及び爽風館高等学校（Ⅲ部のみ） を志願する者を除く）		

	二次入試			
	県内から志願する場合	県外から志願する場合 ※1	県外隣接中学校から 許容する高等学校への志願	全国募集志願
第二次入学選抜入学願書 （様式8号）	◎	◎	◎	◎
調査書（様式9号）	◎	◎	◎	◎
教科学習成績一覧表（様式10号）	○ ※2		○ ※2	
関係書類の送付（鑑）（様式16号）	◎	◎	◎	◎
志望調査票	○ （芸術緑丘高等学校音楽科のみ）	○ （芸術緑丘高等学校音楽科のみ）		
大分県立高等学校入学志願許可書 （様式11号の5）		○ （全日制及び爽風館高等学校（Ⅲ部のみ） を志願する者を除く）		

※1 県外隣接中学校から許容する高等学校（p53）を志願する場合及び安心院高等学校普通科・国東高等学校全学科・久住高原農業高等学校農業科・日田理工高等学校林業科の全国募集志願の場合を除く。

※2 推薦入試等で出願した高等学校に出願する場合は提出不要。

（注）高等専門学校、高等学校に在籍したまま志願する場合は、上記の他に「志願承諾書」が必要。

令和7年度大分県立高等学校入学者選抜実施校及び入試番号一覧

[全日制]

入試番号	学 校 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
1	中 津 南 高 等 学 校	871-0043	中津市高畑2093	(0979)22-0224
2	中津南高等学校耶馬溪校	871-0404	中津市耶馬溪町大字戸原1650-3	(0979)54-2011
3	中 津 北 高 等 学 校	871-0024	中津市中央町1丁目6-83	(0979)22-0244
4	中 津 東 高 等 学 校	871-0004	中津市大字上如水145-3	(0979)32-3800
5	宇 佐 高 等 学 校	872-0102	宇佐市大字南宇佐1543	(0978)37-0117
6	宇佐産業科学高等学校	879-0471	宇佐市大字四日市292	(0978)32-0044
7	安 心 院 高 等 学 校	872-0522	宇佐市安心院町折敷田64	(0978)44-0008
8	高 田 高 等 学 校	879-0606	豊後高田市玉津1834-1	(0978)22-3145
9	国 東 高 等 学 校	873-0503	国東市国東町鶴川1974	(0978)72-1325
10	杵 築 高 等 学 校	873-0014	杵築市大字本庄2379	(0978)62-2037
11	日 出 総 合 高 等 学 校	879-1504	速見郡日出町大字大神1396-43	(0977)72-2855
12	別 府 鶴 見 丘 高 等 学 校	874-0836	別府市東莊園4433-2	(0977)21-0118
13	別 府 翔 青 高 等 学 校	874-0903	別府市野口原3088-91	(0977)22-3141
14	大 分 上 野 丘 高 等 学 校	870-0835	大分市上野丘2丁目10-1	(097)543-6249
15	大 分 舞 鶴 高 等 学 校	870-0938	大分市今津留1丁目19-1	(097)558-2268
16	大 分 雄 城 台 高 等 学 校	870-1155	大分市大字玉沢1250	(097)541-0123
17	大 分 南 高 等 学 校	870-1109	大分市判田台南1丁目1番1号	(097)597-6001
18	大 分 豊 府 高 等 学 校	870-0846	大分市花園3丁目3番1号	(097)546-2222
19	大 分 工 業 高 等 学 校	870-0948	大分市芳河原台12-1	(097)568-7322
20	大 分 商 業 高 等 学 校	870-0931	大分市西浜4-2	(097)558-2611
21	芸 術 緑 丘 高 等 学 校	870-0833	大分市上野丘東1-11	(097)543-2981
22	大 分 西 高 等 学 校	870-8560	大分市新春日町2丁目1-1	(097)543-1551
23	大 分 鶴 崎 高 等 学 校	870-0104	大分市南鶴崎3丁目5-1	(097)527-2166
24	鶴 崎 工 業 高 等 学 校	870-0133	大分市大字葛木509	(097)527-5261
25	情 報 科 学 高 等 学 校	870-0126	大分市大字横尾1605	(097)553-1212
26	大 分 東 高 等 学 校	870-0313	大分市大字屋山2009	(097)592-1064
27	由 布 高 等 学 校	879-5413	由布市庄内町大龍2674-1	(097)582-0244
28	臼 杵 高 等 学 校	875-0042	臼杵市大字海添2521-1	(0972)62-5145
29	海 洋 科 学 高 等 学 校	875-0011	臼杵市大字諏訪254-1-2	(0972)63-3678
30	津 久 見 高 等 学 校	879-2421	津久見市大字津久見3485-1	(0972)82-4126
31	佐 伯 鶴 城 高 等 学 校	876-0848	佐伯市城下東町7-1	(0972)22-3101
32	佐 伯 豊 南 高 等 学 校	876-0012	佐伯市大字鶴望2851-1	(0972)22-2361
33	三 重 総 合 高 等 学 校	879-7141	豊後大野市三重町秋葉1010	(0974)22-5500
34	竹 田 高 等 学 校	878-0013	竹田市大字竹田2642	(0974)63-3401
35	久 住 高 原 農 業 高 等 学 校	878-0204	竹田市久住町大字栢木5801-32	(0974)77-2200
36	玖 珠 美 山 高 等 学 校	879-4403	玖珠郡玖珠町大字帆足160	(0973)72-1148
37	日 田 高 等 学 校	877-0025	日田市田島2丁目9-30	(0973)23-0166
38	日 田 三 限 高 等 学 校	877-0000	日田市大字友田1546-1	(0973)23-3130
39	日 田 林 工 高 等 学 校	877-0083	日田市吹上町30	(0973)22-5171

[定時制・通信制]

入試番号	学 校 名	郵便番号	所 在 地	電話番号
40	中 津 東 高 等 学 校	871-0004	中津市大字上如水145-3	(0979)32-2346
41	大 分 工 業 高 等 学 校	870-0948	大分市芳河原台12-1	(097)568-7325
42	爽 風 館 高 等 学 校	870-8525	大分市上野丘1丁目11-14	(097)547-7700
43	日 田 高 等 学 校	877-0025	日田市田島2丁目9-30	(0973)22-7612

令和7年度大分県立高等学校入学者選抜に係る中学校及び高等学校業務日程

1 推薦入学者選抜

月	日	曜	事 項	提出者		提出先	提出書類等
				中学 校長	高等 学校長		
12	9	月	第1期県外からの志願申請開始	○		志願許可審査委員会	様式11号の1、(様式11号の2)
12	27	金	同上締切り(正午)				
1	21	火	推薦入試出願開始	○		高等学校長	様式1号、様式2号、様式3号 様式4号、様式9号、様式10号 入学査料、志願調査票 様式11号の3、志願承諾書
						高校教育課長	様式10号、様式13号
1	24	金	同上締切り(正午) システム		○	高校教育課長	志願者数の報告
2	4	火	適性検査、面接、小論文 システム		○	高校教育課長	受験者数の報告
2	5	水					
2	5	水	選考結果通知開始	○		中学校長	様式5号、様式6号の1
2	6	木	同上終了 システム			高校教育課長	合格内定者数の報告
3	14	金	推薦入試合格者発表(午前9時頃) システム		○	高校教育課長	合格者数の報告
4	10	木	合格発表後の生徒異動報告書提出締切り		○	高校教育課長	合格発表後の生徒異動報告書

2 連携型中高一貫教育に係る入学者選抜

月	日	曜	事 項	提出者		提出先	提出書類等
				中学 校長	高等 学校長		
1	21	火	連携型入試願書出願開始	○		安心院高等学校長 由布高等学校長	様式1号、様式4号、様式9号 様式10号 中高連携した学習の記録 入学査料、志願承諾書
						高校教育課長	様式10号、様式13号
1	24	金	同上締切り(正午) システム		○	高校教育課長	志願者数の報告
2	4	火	面接、小論文 システム		○	高校教育課長	受験者数の報告
2	5	水					
2	5	水	選考結果通知開始	○		中学校長	様式5号、様式6号の2
2	6	木	同上終了 システム			高校教育課長	合格内定者数の報告
3	14	金	連携型入試合格者発表(午前9時頃) システム		○	高校教育課長	合格者数の報告
4	10	木	合格発表後の生徒異動報告書提出締切り		○	高校教育課長	合格発表後の生徒異動報告書

3 帰国・外国人生徒特別入学者選抜

月	日	曜	事 項	提出者		提出先	提出書類等
				中学 校長	高等 学校長		
12	9	月	県外からの志願申請開始	○		志願許可審査委員会	様式11号の1、(様式11号の2)
12	27	金	同上締切り(正午)				
1	21	火	帰国・外国人生徒特別入試出願開始	○		高等学校長	様式1号、様式4号 様式9号、様式10号、入学査料 様式11号の3、志願承諾書
						高校教育課長	様式10号、様式13号
1	24	金	同上締切り(正午) システム		○	高校教育課長	志願者数の報告
2	4	火	面接、小論文 システム		○	高校教育課長	受験者数の報告
2	5	水					
2	6	木	選考結果通知	○		中学校長	様式5号、様式6号の3
			システム			高校教育課長	合格内定者数の報告
3	14	金	推薦入試合格者発表(午前9時頃) システム		○	高校教育課長	合格者数の報告
4	10	木	合格発表後の生徒異動報告書提出締切り		○	高校教育課長	合格発表後の生徒異動報告書

4 特例選抜A

月	日	曜	事 項	提出者		提出先	提出書類等
				中学 校長	高等 学校長		
2	4	火	特例選抜A受験願申請開始	○		高等学校長	様式21号
2	5	水	同上締切り(午後3時) システム			高校教育課長	志願者数の報告
2	7	金	特例選抜A受験許可書交付完了		○	中学校長	様式22号、入学査料領収証明書
2	12	水	特例選抜A システム		○	高校教育課長	受験者の報告
2	13	木					
2	14	金	特例選抜A合格内定通知		○	中学校長	様式5号、様式6号の4
			特例選抜A結果報告 システム		○	高校教育課長	合格内定者数の報告

5 第一次入学者選抜

月	日	曜	事 項	提出者		提出先	提出書類等
				中学 校長	高等 学校長		
12	9	月	第1期県外からの志願申請開始	○		志願許可審査委員会	様式11号の1、(様式11号の2)
12	27	金	同上締切り(正午)				
1	16	木	第2期県外からの志願申請開始				
1	28	火	同上締切り(正午)				
2	6	木	一次入試募集人員発表				
2	14	金	一次入試出願開始	○		高等学校長	様式7号、様式9号、様式10号 様式14号、入学査料 様式11号の4、志願承諾書
						高校教育課長	様式10号、様式13号
2	20	木	同上締切り(正午) システム		○	高校教育課長	志願者数の報告
2	25	火	一次入試志願変更開始	○		高等学校長	様式7号(新規作成) 様式9号(新規作成) 様式12号の1・2、様式15号 入学査料領収証明書 入学査料、返付された書類
2	28	金	同上締切り(正午) システム		○	高校教育課長	志願変更後の志願者数の報告
3	10	月	学力検査問題配布				
3	11	火	学力検査 システム		○	高校教育課長	受験者数の報告
3	12	水	面接、適性検査				
3	14	金	一次入試合格者発表(午前9時頃) システム		○	高校教育課長	合格者数の報告
4	10	木	合格発表後の生徒異動報告書提出締切り		○	高校教育課長	合格発表後の生徒異動報告書

6 第二次入学者選抜

月	日	曜	事 項	提出者		提出先	提出書類等
				中学 校長	高等 学校長		
12	9	月	第1期県外からの志願申請開始	○		志願許可審査委員会	様式11号の1、(様式11号の2)
12	27	金	同上締切り(正午)				
1	16	木	第2期県外からの志願申請開始				
1	28	火	同上締切り(正午)				
3	14	金	二次入試実施校等発表				
3	17	月	二次入試出願開始	○		高等学校長	様式8号、様式9号、様式10号 様式16号、入学査料 様式11号の5、志願承諾書
						高校教育課長	様式10号、様式13号
3	18	火	同上締切り(午後4時) システム		○	高校教育課長	志願者数の報告
3	19	水	学力検査、小論文、適性検査、面接 システム		○	高校教育課長	受験者数の報告
3	21	金	二次入試合格者発表(午前9時頃) システム		○	高校教育課長	合格者数の報告
4	10	木	合格発表後の生徒異動報告書提出締切り		○	高校教育課長	合格発表後の生徒異動報告書

7 特例選抜B

月	日	曜	事 項	提出者		提出先	提出書類等
				中学 校長	高等 学校長		
3	11	火	特例選抜B受験願申請開始	○		志願先高等学校	様式21号
3	12	水	同上締切り(午後3時) システム		○	高校教育課長	志願者数の報告
3	14	金	特例選抜B受験許可書交付完了		○	中学校長	様式22号
3	18	火	特例選抜B システム		○	高校教育課長	受験者数の報告
3	21	金	特例選抜B合格者通知		○	中学校長	選抜結果
			特例選抜B結果報告 システム		○	高校教育課長	合格者数の報告
4	10	木	合格発表後の生徒異動報告書提出締切り		○	高校教育課長	合格発表後の生徒異動報告書

令和7年度県立高等学校入学定員

[全日制]

学 校	学 科	学級数	入学定員	
			学科別	合 計
中 津 南	普 通	5	200	200
耶 馬 溪 校	普 通	1	30	30
中 津 北	普 通	5	175	175
中 津 東	機 械	1	40	225
	電 気	1	40	
	土 木	1	40	
	生 産 シ ス テ ム	1	35	
	ビ ジ ネ ス 会 計	1	35	
	ビ ジ ネ ス 情 報	1	35	
宇 佐	普 通	4	144	144
宇 佐 産 業 科 学	グ リ ー ン 環 境	1	35	130
	電 子 機 械	1	35	
	ビ ジ ネ ス 管 理	1	30	
	生 活 デ ザ イ ン	1	30	
安 心 院	普 通	2	76	76
高 田	普 通	4	140	140
国 東	普 通	3	100	195
	園 芸 ビ ジ ネ ス	1	30	
	環 境 土 木	1	30	
	電 子 工 業	1	35	
杵 築	普 通	5	200	200
日 出 総 合	農 業 経 営	1	35	140
	機 械 電 子	1	35	
	総 合 学 科	2	70	
別 府 鶴 見 丘	普 通	6	240	240
別 府 翔 青	普 通	2	80	225
	クローバルコミュニケーション	1	40	
	商 業	3	105	
大 分 上 野 丘	普 通	8	320	320
大 分 舞 鶴	普 通	7	(くくり募集)	320
	理 数	1	320	
大 分 雄 城 台	普 通	6	240	240
大 分 南	普 通	3	120	200
	福 祉	2	80	
大 分 豊 府	普 通	6	240	240
大 分 工 業	機 械	2	80	360
	電 気	1	40	
	電 子	2	80	
	建 築	1	40	
	土 木	2	80	
	工 業 化 学	1	40	
大 分 商 業	商 業	3	120	240
	国 際 経 済	1	40	
	情 報 処 理	2	80	
芸 術 緑 丘	音 楽	1	40	80
	美 術	1	40	
大 分 西	総 合 学 科	6	240	240
大 分 鶴 崎	普 通	6	240	240
鶴 崎 工 業	機 械	2	80	280
	電 気	2	80	
	建 築	1	40	
	化 学 工 学	1	40	
	産 業 デ ザ イ ン	1	40	
情 報 科 学	A I テ ク ノ ロ ジ ー	1	40	200
	ビ ジ ネ ス ソ ル ュ ー シ ョ ン	2	80	
	デ ジ タ ル 創 造	2	80	
大 分 東	普 通	2	60	120
	園 芸 ビ ジ ネ ス	1	30	
	園 芸 デ ザ イ ン	1	30	
由 布	普 通	3	105	105

令和7年度県立高等学校入学定員

〔全 日 制〕

学 校	学 科	学級数	入学定員	
			学科別	合 計
臼 杵	普 通	5	175	175
海 洋 科 学	海 洋	1	40	40
津 久 見	普 通	1	30	150
	生 産 機 械	1	30	
	電 気 電 子	1	30	
	地 域 み ら い ビジネス	2	60	
佐 伯 鶴 城	普 通	5	190	190
佐 伯 豊 南	食 農 ビ ジ ネ ス	1	30	160
	工 業 技 術	1	30	
	福 祉 社	1	30	
	総 合 学 科	2	70	
三 重 総 合	普 通	2	60	140
	生 物 環 境	1	40	
	メ デ ィ ア 科 学	1	40	
竹 田	普 通	4	120	120
久 住 高 原 農 業	農 業	1	40	40
玖 珠 美 山	普 通	3	90	120
	地 域 産 業	1	30	
日 田	普 通	5	190	190
日 田 三 隈	総 合 学 科	3	105	105
日 田 林 工	林 業	1	35	145
	機 械	1	35	
	電 気	1	35	
	建 築 土 木	1	40	
全日制合計		185	6880	

(注) ①国東高校普通科ビジネスITコースの募集人員は20人を上限とする。

②別府翔青高校グローバルコミュニケーション科について、帰国・外国人生徒特別入学者選抜における募集人員は、入学定員とは別に定め若干名とする。

③大分舞鶴高校は、「普通科」と「理数科」をくり募集する(推薦入試は除く)。

④安心院高校普通科・国東高校全学科について、全国募集により県外から志願する者の募集人員は、入学定員の10%程度とする。
久住高原農業高校農業科について、全国募集により県外から志願する者の募集人員は、入学定員の30%程度とする。
日田林工高校林業科について、全国募集により県外から志願する者の募集人員は、入学定員の20%程度とする。

〔定 時 制〕

学 校	学 科	学級数	入学定員	
			部・学科別	合 計
中 津 東	機 械	1	40	80
	商 業	1	40	
大 分 工 業	機 械	1	40	80
	電 気	1	40	
爽 風 館	普 通 (I 部)	2	80	240
	普 通 (II 部)	2	80	
	普 通 (III 部)	1	40	
	商 業 (III 部)	1	40	
日 田	普 通	1	40	40
定時制合計		11	440	

〔通 信 制〕

学 校	学 科	入学定員
爽 風 館	普 通	400

令和7年度大分県立高等学校入学者選抜の主な日程

12月・1月			2月			3月		
12/9	月	↑ 第1期県外からの志願申請 (9:00～16:00)	1	土		1	土	
25	水		2	日		2	日	
26	木		3	月	第2期県外からの志願申請結果発送	3	月	
27	金	↓ 第1期県外からの志願申請 (9:00～12:00)	4	火	推薦入試・連携型入試・ 帰国・外国人生徒特別入試 特例選抜A申請	4	火	
			5	水	推薦入試・連携型入試・ 帰国・外国人生徒特別入試 内定通知(～6日) 特例選抜A申請(～15:00)	5	水	
1/6	月		6	木	一次入試募集人員発表	6	木	
7	火		7	金		7	金	
8	水		8	土		8	土	
9	木		9	日		9	日	
10	金		10	月		10	月	
11	土		11	火	(建国記念の日)	11	火	一次入試 特例選抜B申請
12	日		12	水	特例選抜A	12	水	一次入試 特例選抜B申請(～15:00)
13	月	(成人の日)	13	木	特例選抜A	13	木	
14	火	第1期 県外からの志願申請結果発送	14	金	↑ 一次入試出願 (9:00～16:00) 特例選抜A内定通知	14	金	推薦・連携型・ 帰国・外国人生徒特別・一次入試 合格者発表(9:00頃) 二次入試実施校等発表
15	水		15	土		15	土	
16	木	↑ 第2期県外からの志願申請 (9:00～16:00)	16	日		16	日	
17	金		17	月	一次入試出願 (9:00～16:00)	17	月	↑ 二次入試出願 (9:00～16:00)
18	土		18	火	〃	18	火	↓ 〃 特例選抜B
19	日		19	水	〃	19	水	二次入試
20	月		20	木	↓ 一次入試出願 (9:00～12:00)	20	木	(春分の日)
21	火	↑ 推薦入試・連携型入試・ 帰国・外国人生徒特別入試出願 (9:00～16:00)	21	金		21	金	二次入試合格者発表(9:00頃) 特例選抜B選抜結果通知
22	水	〃	22	土		22	土	
23	木	〃	23	日	(天皇誕生日)	23	日	
24	金	↓ 推薦入試・連携型入試・ 帰国・外国人生徒特別入試出願 (9:00～12:00)	24	月	(振替休日)	24	月	↑ 本人提供(二次入試が実施されな かった場合は17日～)
25	土		25	火	↑ 一次入試志願変更 (9:00～16:00)	25	火	〃
26	日		26	水	〃	26	水	〃
27	月		27	木	〃	27	木	〃
28	火	↓ 第2期県外からの志願申請 (9:00～12:00)	28	金	↓ 一次入試志願変更 (9:00～12:00)	28	金	〃
29	水					29	土	
30	木					30	日	
31	金					31	月	↓ 本人提供

《問い合わせ先》

調査書に関すること

大分県教育庁高校教育課高校教育指導班

電話 097-506-5607・5611・5616

その他全般に関すること

大分県教育庁高校教育課高校改革推進班

電話 097-506-5617

(大分県立高等学校入学者選抜に関するホームページ)

<https://www.pref.oita.jp/site/gakkokyoiku/list21490-25125.html>